出来形管理基準及び規格値

【第1編 共通編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第2章	土工				
第 3 節	河川土工・海岸	2-3-2掘削工			4-29
	土工・砂防土工	2-3-3盛土工			4-29
		2-3-4盛土補強工	補強土(テールアル メ)壁工法		4-29
			多数アンカー式補強 土工法		4-29
			ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		4-29
		2-3-5法面整形工	盛土部		4-30
		2-3-6堤防天端工			4-30
第 4 節	道路土工	2-4-2掘削工			4-30
		2-4-3路体盛土工			4-31
		2-4-4路床盛土工			4-31
		2-4-5法面整形工	盛土部		4-31
第3章	無筋、鉄筋コン	クリート			
第 5 節	鉄筋	3-7-4鉄筋の組立て		·	4-31

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第2章 一般施工				
第 3 節 共通的工種	2-3-4矢板工	鋼矢板		4-32
		軽量鋼矢板		4-32
		コンクリート矢板		4-32
		広幅鋼矢板		4-32
		可とう鋼矢板		4-32
	2-3-5法枠工	現場打法枠工		4-32
		現場吹付法枠工		4-32
		プレキャスト法枠工		4-32
	2-3-6吹付工	コンクリート		4-32
		モルタル		4-32
	2-3-7植生工	種子散布工		4-33
		張芝工		4-33
		筋芝工		4-33
		市松芝工		4-33
		植生シートエ		4-33
		植生マット工		4-33
		植生筋工		4-33
		人工張芝工		4-33
		植生穴工		4-33
		植生基材吹付工		4-33
		客土吹付工		4-33
	2-3-8縁石工	縁石・アスカーブ		4-33
	2-3-9小型標識工	120 12 7 7 7 7 7		4-33
	2-3-10防止柵工	立入防止柵		4-34
		転落 (横断) 防止柵		4-34
		車止めポスト		4-34
	2-3-11路側防護柵工	ガードレール		4-34
	2 3 11時 関例改設制工	ガードケーブル		4-34
	2-3-12区画線工	74 117 274		4-35
	2-3-13	視線誘導標		
	2-3-13 直路內属物工	距離標		4-35
	2-3-14桁製作工	□ ^{応帰院} 「仮組立による検査を	,	4-35
	2-3-14们获作工	実施する場合		4-36
		シミュレーション仍 組立検査を行う場合		4-36
		仮組立検査を実施し ない場合		4-38
		鋼製堰堤製作工(仮組立時)		4-39
	2-3-15工場塗装工			4-39
	2-3-16コンクリート面塗装工			4-40
第 4 節 基礎工	2-4-1-般事項	切込砂利		4-40
		砕石基礎工		4-40
		割ぐり石基礎工		4-40
		均しコンクリート		4-40
	2-4-3基礎工(護岸)	現場打		4-40
		プレキャスト		4-41
	2-4-4既製杭工	既製コンクリート杭		4-41
		鋼管杭		4-41
		H鋼杭		4-41
	2-4-5場所打杭工			4-41
	2-4-6深礎工	+	 	4-41
	2-4-7オープンケーソン基礎工			4-42
	2-4-8ニューマチックケーソ		+	4 44
		´		4 - 42

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第3編 土木工事共通編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
		2-4-9鋼管矢板基礎工			4-42
第 5 節	石・ブロック積 (張)エ	2-5-3コンクリートブ ロックエ	コンクリートブロッ ク積		4-43
	(38)	, , , , ,	コンクリートブロッ		4-43
			ク張り 連節ブロック張り		
			天端保護ブロック		4-43
		2-5-4緑化ブロックエ	八畑休暖ノログノ		4-44
		2-5-5石積(張)工			4-44
第6節	一般舗装工	2-6-5アスファルト舗	下層路盤工		4-45
		装工	上層路盤工(粒度調整 路盤工)		4-45
			上層路盤工(セメント (石灰) 安定処理工)		4-46
			加熱アスファルト安 定処理工		4-46
			基層工		4-47
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	表層工		4-47
		2-6-6コンクリート舗 装工	下層路盤工		4-48
		A	粒度調整路盤工 セメント(石灰・瀝青)		4-48
			安定処理工		4-49
			アスファルト中間層		4-49
			コンクリート舗装版工		4-50
			転圧コンクリート版 工 (下層路盤工)		4-50
			転圧コンクリート版 工(粒度調整路盤工)		4-50
			転圧コンクリート版 工(セメント(石灰・ 瀝青)安定処理工)		4-51
			転圧コンクリート版 工(アスファルト中間 層)		4-51
			転圧コンクリート版工		4-51
		2-6-7薄層カラー舗装	下層路盤工		4-52
		工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-52
			上層路盤工(セメント (石灰) 安定処理工)		4-53
			加熱アスファルト安 定処理工		4-53
			基層工		4-53
		2-6-8ブロック舗装工	下層路盤工		4-54
			上層路盤工(粒度調整 路盤工)		4-54
			上層路盤工(セメント (石灰) 安定処理工)		4-55
			加熱アスファルト安 定処理工		4-55
			基層工		4-55
第7節	地盤改良工	2-7-2路床安定処理工			4-56
		2-7-3置換工			4-56

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第3編 土木工事共通編】

=	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第7節	地盤改良工	2-7-4表層安定処理工		第3編2-7-6サンドマット工	4-57
			サンドマット海上		4-57
		2-7-5パイルネット工			4-57
		2-7-6サンドマット工			4-57
		2-7-7バーチカルドレ ーンエ	サンドドレーン工		4-58
			ペーパードレーンエ		4-58
			袋詰式サンドドレー ン工		4-58
		2-7-8締固め改良工	サンドコンパクショ ンパイルエ		4-58
		2-7-9固結工	粉末噴射撹拌工		4-58
			高圧噴射撹拌工		4-58
			スラリー撹拌工		4-58
			生石灰パイル工		4-58
第10節	仮設工	2-10-5 土留・仮締切工			4-59
			鋼矢板		4-59
			アンカーエ		4-59
			連節ブロック張り工		4-59
			締切盛土 中詰盛土		4-59
		2-10-9地中連続壁工	中前盆上	+	4-60
		(壁式)			4-60
		2-10-10地中連続壁工 (柱列式)			4-60
		2-10-22法面吹付工			4-60
第11節	軽量盛土工	2-11-2軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	4-31
	共通施工				
第 1 節	共通関係	3-1-1現場塗装工			4-61
		3-1-2場所打擁壁工 3-1-3プレキャスト擁			4-62
		壁工			4-62
		3-1-4井桁ブロック工			4-63
		3-1-5アンカーエ	0		4-63
		3-1-6側溝工	プレキャストU型側 溝		4-64
			L型側溝		4-64
		3-1-6側溝工	自由勾配側溝		4-64
			管渠	1	4-64
		3-1-7場所打水路工			4-64
		3-1-8集水桝工			4-64
		3-1-9暗渠工 3-1-10刃口金物製作工			4-64
		3-1-10万日並初製作工		+	4-65 4-65
第 2 節	河川関係	3-2-1巨石張り、巨石 積み			4-65
		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			1_66
		3-2-3 じゃかご		+	4-66 4-66
		3-2-4ふとんかご、か			4-66
		ご枠 3-2-5根固めブロック			4-66
		3-2-5 依固めブロック 3-2-6 沈床工		+	4-67
		3-2-6 亿床工		+	4-67
		10 4 1167日上	1		 + O/

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第3編 土木工事共通編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
93節	海岸関係	3-3-1 浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		4-68
			グラブ船		4-68
第 4 節 道路関係	3-4-1 プレキャスト カルバートエ	プレキャストボック スエ		4-68	
			プレキャストパイプ エ		4-68
		3-4-2落石防護柵工			4-68
		3-4-3検査路製作工			4-69
		3-4-4鋼製伸縮継手 製作工			4-69
		3-4-5落橋防止装置 製作工			4-69
		3-4-6鋼製排水管製作工			4-69
		3-4-7プレビーム用 桁製作工			4-70
		3-4-8橋梁用防護柵 製作工			4-70
		3-4-9鋳造費	金属支承工		4-7
			大型ゴム支承工		4-72
		3-4-10アンカーフレ ーム製作工			4-73
		3-4-11仮設材製作工			4-73
		3-4-12床版・横組工			4-7;
		3-4-13伸縮装置工	ゴムジョイント		4-73
			鋼製フィンガージョイント		4-7
		3-4-14地覆工			4-7
		3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工			4-7
		3-4-16検査路工			4-7
		3-4-17支承工	鋼製支承		4-7
			ゴム支承		4-7
		3-4-18架設工(鋼橋)	クレーン架設		4-7
			ケーブルクレーン架 設		4-7
			ケーブルエレクショ ン架設		4-7
			架設桁架設		4-7
		3-4-18架設工(鋼橋)	送出し架設		4-7
			トラベラークレーン 架設		4-7
		3-4-19プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋		4-7
			スラブ桁		4-7
		3-4-20ポストテンション桁製作工			4-7
		3-4-21プレキャストセグメント製作工(購入工)			4-7
		3-4-22プレキャスト セグメント主桁組立工			4-73
		3-4-23 P C ホロース ラブ製作工			4-7
		3-4-24PC箱桁製作			4-7
		3-4-25 P C 押出し箱 桁製作工			4-7
		3-4-26架設工(コンク リート橋)	架設工(クレーン架 設)		4-7

※「準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 4 節 道路関係		架設工(架設桁架設)		4-79
		架設工支保工 (固定)		4-79
		架設工支保工 (移動)		4-79
		架設桁架設(片持架 設)		4-79
		架設桁架設(押出し 架設)		4-79
	3-4-27半たわみ性舗装	下層路盤工		4-80
	工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-80
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理 工)		4-81
		加熱アスファルト安 定処理工		4-81
		基層工		4-81
		表層工		4-81
	3-4-28排水性舗装工	下層路盤工		4-82
		上層路盤工(粒度調整路盤工)		4-82
		上層路盤工(セメント(石灰)安定処理 工)		4-82
		加熱アスファルト安 定処理工		4-83
		基層工		4-83
		表層工		4-83
	3-4-29グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安 定処理工		4-84
		基層工		4-84
		表層工		4-84
	3-4-30透水性舗装工	路盤工		4-85
		表層工		4-85
		透水性歩道舗装 フィルター層		4-85
	3-4-31路面切削工			4-86
	3-4-32舗装打換え工			4-86
	3-4-33オーバーレイエ			4-86
	3-4-34落橋防止装置工			4-86

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

	が出していた。	l A	July 317.	SHETT I WILLIAM TO STATE HE SHE	
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第1章	築堤・護岸				
第3節	護岸基礎工	1-3-3基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	4-40
55 A 55	左	1-3-4矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
第4節	矢板護岸工	1-4-3笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	4-40
		1-4-4矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
第 5 節	法覆護岸工	1-5-3コンクリートブ ロック工		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
		1-5-4護岸付属物工		第3編3-2-8護岸付属物工	4-67
		1-5-5緑化ブロックエ		第3編2-5-4緑化ブロック工	4-44
		1-5-6環境護岸ブロックエ		第3編2-5-3コンクリートブックエ	4-43
		1-5-7石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		1-5-8法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
		1-5-9多自然型護岸工	巨石張り	第3編3-2-1巨石張り、巨石積み	4-65
			巨石積み	第3編3-2-1巨石張り、巨石積み	4-65
			かごマット	第3編3-2-2かごマット	4-66
		1-5-10吹付工		第3編2-3-6吹付工	4-32
		1-5-11植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
		1-5-12覆土工		第1編2-3-5法面整形工	4-30
		1-5-13羽口工	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、かご枠	4-66
			かご枠	第3編3-2-4ふとんかご、か ご枠	4-66
			連節ブロック張り	第3編2-5-3-2連節ブロック張り	4-43
第6節	擁壁護岸工	1-6-3場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		1-6-4プレキャスト擁 壁工		第3編3-1-3プレキャスト擁 壁工	4-62
第7節	根固めエ	1-7-3根固めブロック工		第3編3-2-5根固めブロック	4-67
		1-7-5 沈床工		第3編3-2-6沈床工	4-67
		1-7-6 捨石工		第3編3-2-7捨石工	4-67
		1 - 7 - 7かごエ	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、か ご枠	4-66
第 8 節	水制工	1-8-3沈床工		第3編3-2-6沈床工	4-67
		1-8-4 捨石工	20 . 2 -0	第3編3-2-7捨石工	4-67
		1-8-5かごエ	じゃかご ふとんかご	第3編3-2-3じゃかご 第3編3-2-4ふとんかご、か	4-66
			<i>ふとんけ</i> こ	男 3 柵 3 一 2 一 4 か とんか こ、か ご枠	4-66
## C ##	/_ ##\ \\ Pb	1-8-8杭出し水制工		## 0 /= 0 0 1 H# Ind D-2# Lm	4-87
第9節	付帯道路工	1-9-3路側防護柵工 1-9-5アスファルト舗		第3編2-3-11路側防護柵工 第3編2-6-5アスファルト舗	4-34
		装工		装工	4-45
		1-9-6コンクリート舗装工		第3編2-6-6コンクリート舗 装工	4-48
		1-9-7薄層カラー舗装工		第3編2-6-7薄層カラー舗装 工	4-52
		1-9-8ブロック舗装工		第3編2-6-8ブロック舗装工	4-54
		1-9-9側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		1-9-10集水桝工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		1-9-11縁石工 1-9-12区画線工		第3編2-3-8縁石工	4-33
		┃1 ̄ ∃ ̄ 14 凸 囲 豚 上		第3編2-3-12区画線工	4-35

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

	ע אוי / ניין אוי ע		I	Т Т	1
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第10節		1-10-3道路付属物工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
	I	1-10-4標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
第11節		1-11-3配管工			4-87
	管工 	1-11-4ハンドホール工			4-87
第2章	浚渫(川)				
第 2 節	浚渫船)	2-2-2 浚渫船運転工 (民船・官船)		第3編3-3-1浚渫船運転工	4-68
第3節	浚渫工(グラブ 船)	2-3-2浚渫船運転工		第3編3-3-1-2浚渫船運転工	4-68
第 4 節	浚渫工(バック ホウ浚渫船)	2-4-2浚渫船運転工		第3編3-3-1-2浚渫船運転工	4-68
第3章	樋門・樋管	<u>I</u>			
第 3 節		3-3-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
	エ	3-3-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		3-3-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		3-3-6 函渠工	本体工		4-88
			ヒューム管		4-88
			PC管		4-88
			コルゲートパイプ		
					4-88
			ダクタイル鋳鉄管		4-88
			PC函渠	第3編3-4-1プレキャストカ ルバートエ	4-68
		3-3-7翼壁工			4-89
		3-3-8水叩工			4-89
第 4 節	護床工	3-4-3根固めブロック 工		第3編3-2-5根固めブロック	4-67
		3-4-5沈床工		第3編3-2-6沈床工	4-67
		3-4-6 捨石工		第3編3-2-7捨石工	4-67
		3-4-7かごエ	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、か ご枠	4-66
第5節	 水路工	3-5-3側溝工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
와 O III	小四二	3-5-4集水桝工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		3-5-5暗渠工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
		3-5-6 樋門接続暗渠工		第3編3-4-1プレキャストカ	4-04
		0 0 0個门级船码来工		ルバート工	4-68
第6節	付属物設置工	3-6-3防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		3-6-7階段工		第3編3-1-11階段工	4-65
第 4 章	水門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		214 - 4110	1 00
第3節	工場製作工	4-3-3桁製作工		第3編2-3-14桁製作工	4-36
	_ 22011 —	4-3-4鋼製伸縮継手製作工		第3編3-4-4鋼製伸縮継手製作工	4-69
		4-3-5落橋防止装置製		第3編3-4-5落橋防止装置製	4-69
		作工 4-3-6鋼製排水管製作		作工 第3編3-4-6鋼製排水管製作	4-69
		工		工	4 09
		4-3-7橋梁用防護柵製 作工		第3編3-4-8橋梁用防護柵製作工	4-70
		4-3-8鋳造費		第3編3-4-9鋳造費	4-71
		4-3-9仮設材製作工		第3編3-4-11仮設材製作工	4-73
		4-3-10工場塗装工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第 4 節	水門本体工	4-4-4既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		4-4-5場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		4-4-6 矢板工(遮水矢		第3編2-3-4矢板工(遮水矢	
		板)		板)	4-32

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

A > V -	ע אווי / ניז אוווי / ניז וווויי ווויי			1	
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 4 節	水門本体工	4-4-7床版工			4-89
		4-4-8堰柱工			4-89
		4-4-9門柱工			4-89
		4-4-10ゲート操作台工			4-89
		4-4-11胸壁工			4-89
		4-4-12翼壁工		第6編3-3-7翼壁工	4-89
		4-4-13水叩工		第6編3-3-8水叩工	4-89
第5節	護床工	4-5-3根固めブロックエ		第3編3-2-5根固めブロック	4-67
7, 0 11,	1201-	4-5-5沈床工		第3編3-2-6沈床工	4-67
		4-5-6捨石工		第3編3-2-7捨石工	
		11.1.1	いっょン	第3編3-2-3じゃかご	4-67
		4-5-7かごエ	じゃかご	第3編3-2-3しゃかこ	4-66
			ふとんかご	男 3 編 3 一 2 一 4 ふ とん か こ、か ご枠	4-66
第6節	付属物設置工	4-6-2防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		4-6-8階段工		第3編3-1-11階段工	4-65
第7節	鋼管理橋上部 工	4-7-4架設工(クレーン 架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
	-	4-7-5架設工(ケーブル		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		クレーン架設) 4-7-6架設工(ケーブル		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-7 <i>e</i>
		エレクション架設) 4-7-7架設工(架設桁架		第 3 編 3 - 4 - 18架設工(鋼橋)	4-76
		設)			4-76
		4-7-8架設工(送出し架 設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-7-9架設工(トラベラ ークレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-7-10支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
第 8 節	橋梁現場塗装工	4-8-2現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
第9節	床版工	4-9-2床版工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
第 10 節		4-10-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
	(鋼管理橋)	4-10-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
		4-10-5橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
		4-10-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
		4-10-7検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第12節	コンクリート管理を	4-12-2プレテンション桁		第3編3-4-19プレテンション	7 17
יומיזינע	上部工(PC橋)	製作工(購入工)		桁製作工(購入工)	4-77
		4-12-3ポストテンション 桁製作工		第3編3-4-20ポストテンション桁製作工	4-77
		4-12-4プレキャストセグ メント製作工 (購入工)		第3編3-4-21プレキャストセ グメント製作工 (購入工)	4-78
		4-12-5プレキャストセグ メント主桁組立工		第3編3-4-22プレキャストセ グメント主桁組立工	4-78
		4-12-6支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		4-12-7架設工(クレーン		第3編3-4-26架設工(コンク	
		架設)		リート橋)	4-79
		4-12-8架設工(架設桁架 設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		4-12-9床版・横組工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
		4-12-10落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
第13節	コンクリート 管理橋上部工	4-13-1架設支保工(固定)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
	(PCホロース	4-13-2支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
	ラブ橋)	4-13-4落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
		4-13-5 P C ホロースラブ		第3編3-4-23PCホロースラ	
		製作工		ブ製作工	4-78
		& 管理其進 け進田失を示す		· ··· · · · · ·	

※「準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
	4-14-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
(コンクリート管	4-14-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
理橋)	4-14-5橋梁用防護柵 工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
	4-14-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
	4-14-7検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第16節 舗装工	4-16-5アスファルト		第3編2-6-5アスファルト舗	
	舗装工		装工	4-45
	4-16-6半たわみ性舗 装工		第3編3-4-27半たわみ性舗装 工	4-80
	4-16-7排水性舗装工		第3編3-4-28排水性舗装工	4-82
	4-16-8 透水性舗装工		第3編3-4-30透水性舗装工	4-85
	4 - 16 - 9 グースアスフ アルト舗装工		第3編3-4-29グースアスファ ルト舗装工	4-84
	4-16-10コンクリート 舗装工		第3編2-6-6コンクリート舗 装工	4-48
	4-16-11薄層カラー舗 装工		第3編2-6-7薄層カラー舗装 工	4-52
	4-16-12ブロック舗装 工		第3編2-6-8ブロック舗装工	4-54
	l			
第3節 工場製作工	5-3-3列口金物製作工		第3編3-1-10刃口金物製作工	4-65
77 C M	5-3-4桁製作工		第3編2-3-14桁製作工	4-36
	5-3-5検査路製作工		第3編3-4-3検査路製作工	4-69
	5-3-6鋼製伸縮継手 製作工		第3編3-4-4鋼製伸縮継手製作工	4-69
	5-3-7 落橋防止装置 製作工		第3編3-4-5落橋防止装置製作工	4-69
	5-3-8鋼製排水管製作工		第3編3-4-6鋼製排水管製作 T.	4-69
	5-3-9プレビーム用 桁製作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工	4-70
	5-3-10橋梁用防護柵 製作工		第3編3-4-8橋梁用防護柵製作工	4-70
	5-3-11鋳造費		第3編3-4-9鋳造費	4-71
	5-3-12アンカーフレ -ム製作工		第3編3-4-10アンカーフレー ム製作工	4-73
	5-3-13仮設材製作工		第3編3-4-11仮設材製作工	4-73
	5-3-14工場塗装工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第4節 可動堰本体工	5-4-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
	5-4-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
	5-4-5オープンーソ ン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	4-42
	5-4-6ニューマチッ クケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチック ケーソン基礎工	4-42
	5-4-7矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
	5-4-8床版工		第6編4-4-7床版工	4-89
	5-4-9堰柱工		第6編4-4-8堰柱工	4-89
	5-4-10門柱工		第6編4-4-9門柱工	4-89
	5-4-11ゲート操作台工		第6編4-4-10ゲート操作台工	4-89
	5-4-12水叩工		第6編3-3-8水叩工	4-89
	5-4-13閘門工			4-89
	5-4-14土砂吐工			4-89
kk - kk	5-4-15取付擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
第5節 固定堰本体工	5-5-3 既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
	5-5-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
	5 - 5 - 5 オープンケー ソン基礎工 2 年 1		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	4-42

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

T 31 C) 利用 【9] 八月利用】	,			
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第5節	固定堰本体工	5-5-6ニューマチック		第3編2-4-8ニューマチック	4-42
		ケーソン基礎工 5-5-7矢板工		ケーソン基礎工 第3編2-3-4矢板工	4.00
		5-5-7 天板工 5-5-8 堰本体工		第 3 柵 2 一 3 一 4 六 极 上	4-32
					4-89
		5-5-9水叩工 5-5-10土砂吐工			4-89
				然0 900 1 0 B T 好機晚了	4-89
## 0 ##	2 × -	5-5-11取付擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
第6節		5-6-3魚道本体工			4-90
第7節		5-7-2管理橋橋台工		http://www.chiling.com/	4-90
第8節	鋼管理橋上部工	5-8-4架設工 (クレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-5架設工 (ケーブ ルクレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-6架設工(ケーブ ルエレクション架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-7架設工(架設桁 架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-8架設工(送出し 架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-9架設工(トラベラークレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		5-8-10支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
第9節	橋梁現場塗装工	5-9-2現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
第10節	床版工	5-10-2床版工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
第11節	橋梁付属物工	5-11-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
	(鋼管理橋)	5-11-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
		5-11-5橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
		5-11-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	4-74
		5-11-7検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第13節	コンクリート 管理橋上部工	5-13-2プレテンション 桁製作工(購入工)		第3編3-4-19プレテンション 桁製作工(購入工)	4-77
	(PC橋)	5-13-3ポストテンション桁製作工		第3編3-4-20ポストテンション桁製作工	4-77
		5-13-4プレキャストセ グメント製作工 (購入工)		第3編3-4-21プレキャストセ グメント製作工(購入工)	4-50
		5-13-5プレキャストセ グメント主桁組立工		第3編3-4-22プレキャストセ グメント主桁組立工	4-50
		5-13-6支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-13-7架設工 (クレーン架設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-13-8架設工(架設桁 架設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-13-9床版・横組工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
		5-13-10落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
第14節	コンクリート 管理橋上部エ	5-14-2架設支保工(固定)		第3編3-4-26架設工 (コンク リート橋)	4-79
	(PC橋ホロー	5-14-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
	スラブ橋)	5-14-4落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
		5-14-5PCホロースラ ブ製作工		第3編3-4-23PCホロースラブ製作工	4-78
第15節	コンクリート 管理橋上部工	5-15-2架設支保工(固定)		第3編3-4-26架設工 (コンク リート橋)	4-79
	(PC箱桁橋)	5-15-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-15-4 P C 箱桁製作工		第3編3-4-24PC箱桁製作工	4-79
		5-15-5落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
第16 智		5-16-2伸縮装置工		第 3 編 3 - 4 - 13 伸縮装置工	4-73
()	ンクリート管理	5-16-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	
橋)		○ 1○ オプロ1友工。			4-74
N/	淮田オス山本耳	・管理基準」は準用先を示	才 党力却は[冬]	の関に進用生むこす	

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

▼ 310	77年 【57777年】				
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第16節	橋梁付属物工 (コンクリート管	5-16-5橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
	理橋)	5-16-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
		5-16-7検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第18節	付属物設置工	5-18-3防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
	1371-3173112	5-18-7階段工		第3編3-1-11階段工	4-65
第6章	排水機場	1		214 - 41M	1 00
第3節		6-3-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		6-3-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		6-3-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		6-3-6本体工			4-91
		6-3-7燃料貯油槽工			4-91
第 4 節	沈砂池工	6-4-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		6-4-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		6-4-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		6-4-6場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		6-4-7コンクリート床			4-91
		版工		Wrows of the transfer to	
		6-4-8ブロック床版工		第3編3-2-5根固めブロック	4-67
第5節	吐出水槽工	6-4-9場所打水路工 6-5-3既製杭工		第3編3-1-7場所打水路工 第3編2-4-4既製杭工	4-64
男 ひ 即	吐山水信工	6-5-4場所打杭工		第3編2-4-4以級机工	4-41 4-41
		6-5-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		6-5-6本体工		第6編6-3-6本体工	4-91
笋っ音	床止め・床固め	0 0 0444			4 31
	床止め工	7-3-4既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
ارم ا	»(·— • > —	7-3-5矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		7-3-6本体工	床固め本体工	270 - 7114	
					4-92
			植石張り	第3編2-5-5石積(張)工	4-44
			根固めブロック	第3編3-2-5根固めブロック	4-67
		7-3-7取付擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		7-3-8水叩工			4-92
			巨石張り	第3編3-2-1巨石張り、巨石 積み	4-65
			根固めブロック	第3編3-2-5根固めブロック	4-67
第 4 節	床固め工	7-4-4本堤工		第6編7-3-6-1本体工	4-92
		7-4-5垂直壁工		第6編7-3-6-1本体工	4-92
		7-4-6側壁工			4-92
		7-4-7水叩工		第6編7-3-8水叩工	4-92
第 5 節	山留擁壁工	7-5-3コンクリート擁 壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
				第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
		7-5-5石積擁壁工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		7-5-6山留擁壁基礎工		第3編2-4-3法留基礎工	4-40
第8章	河川維持				
第 7 節		8-7-3不陸整正工		第1編2-3-6堤防天端工	4-30
		8-7-4コンクリート舗 装補修工		第3編2-6-6コンクリート舗 装工	4-48
		8-7-5アスファルト舗 装補修工		第3編2-6-5アスファルト舗 装工	4-45
			ı		L

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

1370	が冊(り)リが冊】				
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 8 節	付属物復旧工	8-8-2付属物復旧工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
第9節	付属物設置工	8-9-3防護柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		8-9-5付属物設置工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
第10節	光ケーブル配管	8-10-3配管工		第6編1-11-3配管工	4-87
	エ	8-10-4ハンドホール工		第6編1-11-4ハンドホール工	4-87
第12節	植栽維持工	8-12-3樹木・芝生管理 工		第3編2-3-7植生工	4-33
第9章	河川修繕				
第 3 節	腹付工	9-3-2 覆土工		第1編2-3-5法面整形工	4-30
		9-3-3植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
第 4 節	側帯工	9-4-2縁切工	じゃかご工	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			連節ブロック張り	第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
			コンクリートブロック 張り	第3編2-5-3コンクリートブ ロックエ	4-43
		9-4-2縁切工	石張工	第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		9-4-3植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
第 5 節	堤脚保護工	9-5-3石積工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		9-5-4コンクリートブ ロックエ		第3編2-5-3コンクリートブ ロックエ	4-43
第 6 節	管理用通路工	9-6-2防護柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		9-6-4路面切削工		第3編3-4-31路面切削工	4-86
		9-6-5舗装打換え工		第3編3-4-32舗装打換え工	4-86
		9-6-6オーバーレイエ		第3編3-4-33オーバーレイエ	4-86
		9-6-7排水構造物工	プレキャストU型側 溝・管(函)渠	第3編3-1-6側溝工	4-64
			集水桝工	第3編3-1-8集水桝工	4-64
		9-6-8道路付属物工	歩車道境界ブロック	第3編2-3-8縁石工	4-33
第7節	現場塗装工	9-7-3付属物塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
		9-7-4コンクリート面 塗装工		第3編2-3-16コンクリート面 塗装工	4-40

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第7編 河川海岸編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第1章	堤防・護岸				
第3節	護岸基礎工	1-3-4 捨石工		第3編3-2-7捨石工	4-67
y, 0 y,	15071 SEINC	1-3-5場所打コンク		7, 0 A A A A A A A A A A A A A A A A A A	4-93
		リートエ 1-3-6海岸コンクリー			
		トブロック工 1-3-7笠コンクリート		第3編2-4-3法留基礎工	4-93
		工		另 5 柵 2 ^{- 4 - 5} 伝宙	4-40
		1-3-8基礎工		第3編2-4-3法留基礎工	4-40
		1-3-9矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
第 4 節	護岸工	1-4-3石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		1-4-4海岸コンクリー トブロックエ			4-93
		1-4-5コンクリート被			4-94
第5節	 擁壁工	覆工1-5-3場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
第6節	天端被覆工	1-6-2コンクリート被			4-94
第7節	波返工	覆工 1-7-3波返工			4-94
第8節		1-8-2石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-94
יום טידע	农 Д I	1-8-3コンクリートブ		第3編2-5-3コンクリートブ	4-43
		ロック工 1-8-4コンクリート被		ロック工 第7編1-4-5コンクリート被	
		覆工		覆工	4-94
		1-8-5法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
第 9 節	カルバートエ	1-9-3プレキャストカ ルバート工		第3編3-4-1プレキャストカルバート工	4-68
第10節	排水構造物工	1-10-3側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		1-10-4集水桝工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		1-10-5管渠工	プレキャストパイプ	第3編3-1-9暗渠工	4-64
			プレキャストボック ス	第3編3-1-9暗渠工	4-64
			コルゲートパイプ	第3編3-1-9暗渠工	4-64
			タグタイル鋳鉄管	第3編3-1-9暗渠工	4-64
		1-10-6場所打水路工	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	第3編3-1-7場所打水路工	4-64
第11節	付属物設置工	1-11-3防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		1-11-6階段工		第3編3-1-11階段工	4-65
第12節	付帯道路工	1-12-3路側防護柵工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		1-12-5アスファルト舗 装工		第3編2-6-5アスファルト舗 装工	4-45
		1-12-6コンクリート舗 装工		第3編2-6-6コンクリート舗 装工	4-48
		1-12-7薄層カラー舗装 T.		第3編2-6-7薄層カラー舗装 T.	4-52
		<u> </u>		第3編3-1-6側溝工	4-64
		1-12-9集水桝工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		1-12-10縁石工		第3編3-3-8縁石工	4-04
		1-12-11区画線工		第3編2-3-12区画線工	4-35
第13節	付帯道路施設工	1-13-3道路付属物工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
		1-13-4小型標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
第2章	突堤・人工岬				
第3節	突堤基礎工	2-3-4 捨石工			4-95
		2-3-5吸出し防止工			4-95
第 4 節	突堤本体工	2-4-2 捨石工			4-95
		2-4-5海岸コンクリー トブロックエ			4-96
		2-4-6既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4 41
	, <u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	2-4-6既聚机工			4-41

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第7編 河川海岸編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 4 節	突堤本体工	2-4-7詰杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		2-4-8矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
		2-4-9石枠工			4-96
		2-4-10場所打コンク リートエ			4-96
		2-4-11ケーソンエ	ケーソン工製作		4-97
			ケーソン工据付		4-97
			突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリート ブロック)		4-97
		2-4-12セルラーエ	セルラー工製作		4-98
			セルラー工据付		4-98
			突堤上部工 (場所打コンクリー ト) (海岸コンクリート ブロック)		4-98
第 5 節	根固め工	2-5-2 捨石工			4-98
		2-5-3根固めブロック 工			4-99
第6節	消波工	2-6-2 捨石工		第7編2-5-2捨石工	4-98
		2-6-3消波ブロックエ			4-99
第3章	海域堤防(人工	リーフ、離岸堤、潜堤)			
第 3 節	海域堤基礎工	3-3-3 捨石工			4-99
		3-3-4吸出し防止工		第7編2-3-5吸出し防止工	4-95
第 4 節	海域堤本体工	3-4-2 捨石工		第7編2-3-4捨石工	4-95
		3-4-3海岸コンクリー トブロックエ		第7編2-4-5海岸コンクリー トブロックエ	4-96
		3-4-4ケーソンエ		第7編2-4-11ケーソンエ	4-97
		3-4-5セルラーエ		第7編2-4-12セルラーエ	4-98
		3-4-6場所打コンク リートエ		第7編2-4-10場所打ちコンク リートエ	4-96
	浚渫 (海)				
第2節	浚渫工(ポン プ浚渫船)	4-2-2浚渫船運転工		第3編3-3-1浚渫船運転工	4-68
第3節	浚渫工(グラ ブ船)	4-3-2浚渫船運転工		第3編3-3-1浚渫船運転工	4-68
	養浜				
第 2 節	砂止工	5-2-2根固めブロック 工		第7編2-5-3根固めブロック 工	4-99

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第8編 砂防編】

I AT O	7年 1977年1		1		T
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第1章	砂防堰堤				
第 3 節		1-3-3鋼製堰堤製作工		第3編2-3-14-3桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	4-36
		1-3-4鋼製堰堤仮設材 製作工			4-100
		1-3-5工場塗装工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第4節	法面工	1-4-2植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
		1-4-3法面吹付け工		第3編2-3-6吹付工	4-32
		1-4-4法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
		1-4-6アンカーエ		第3編3-1-5アンカー工	4-63
		1-4-7かご工	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、かご枠	4-66
第 6 節	コンクリート 堰堤エ	1-6-4コンクリート堰 堤本体工			4-100
		1-6-5コンクリート副 堰堤工		第8編1-6-4コンクリート堰 堤本体工	4-100
		1-6-6コンクリート側 壁工			4-100
		1-6-8水叩工			4-101
第7節	鋼製堰堤工	1-7-5鋼製堰堤本体工	不透過型		4-101
			透過型		4-101
		1-7-6鋼製側壁工			4-102
		1-7-7コンクリート側 壁工		第8編1-6-6コンクリート側 壁工	4-100
		1-7-9水叩工		第8編1-6-8水叩工	4-101
		1-7-10現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
第 8 節	護床工・根固 めエ	1-8-4根固めブロック 工		第3編3-2-5根固めブロック	4-67
		1-8-6沈床工		第3編3-2-6沈床工	4-67
		1-8-7かご工	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、か ご枠	4-66
第 9 節	砂防堰堤付属 物設置工	1-9-3防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
第10節	付帯道路工	1-10-3路側防護柵工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		1-10-5アスファルト舗 装工		第3編2-6-5アスファルト舗 装工	4-45
		1-10-6コンクリート舗 装工		第3編2-6-6コンクリート舗 装工	4-48
		1-10-7薄層カラー舗装 エ		第3編2-6-7薄層カラー舗装 工	4-52
		1-10-8側溝工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
		1-10-9集水桝工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		1-10-10縁石工		第3編2-3-8縁石工	4-33
		1-10-11区画線工		第3編2-3-12区画線工	4-35
第11節	付帯道路施設工	1-11-3道路付属物工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
		1-11-4小型標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
第2章	流路				
第 3 節	流路護岸工	2-3-4基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	4-40
		2-3-5コンクリート擁 壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		2-3-6ブロック積擁壁 工		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
		2-3-7石積擁壁工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
		2-3-8護岸付属物工		第3編3-2-8護岸付属物工	4-67
		2-3-9植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
第 4 節	床固め工	2-4-4床固め本体工		第8編1-6-4コンクリート堰	4-100
	** m + 7 11 + #	 		提本体工 	1 100

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第8編 砂防編】

第4節 床固め工 2-4-5垂直壁工 第8編1-6-4コンクリ 堤本体工 2-4-6側壁工 第8編1-6-6コンクリ 壁工	リート堰
2-4-6側壁工 第8編1-6-6コンク! 壁工	4-100
	リート側 4-100
2-4-7水叩工 第8編1-6-8水叩工	4-101
2-4-8魚道工	4-102
第5節 根固め・水制工 2-5-4根固めブロック 第3編3-2-5根固めて 工 第3編3-2-5根固めて	ブロック 4-67
2-5-6 捨石工 第3編3-2-7捨石工	4-67
2-5-7かご工 じゃかご 第3編3-2-3じゃかさ	
ふとんかご 第3編3-2-4ふとんだ ご枠	かご、か 4-66
かごマット 第3編3-2-2かごマッ	ット 4-66
第 6 節 流路付属物設 2-6-2階段工 第 3 編 3-1-11階段工	4-65
置工	L 4-34
第3章 斜面対策	
第3節 法面工 3-3-2植生工 第3編2-3-7植生工	4-33
3-3-3吹付工 第3編2-3-6吹付工	4-32
3-3-4法枠工 第3編2-3-5法枠工	4-32
3-3-5かご工 じゃかご 第3編3-2-3じゃかる	<u> </u>
ふとんかご 第3編3-2-4ふとんだ ご枠	かご、か 4-66
3-3-6アンカーエ(プ レキャストコンクリート 板) 第3編3-1-5アンカー	- 工. 4-63
3-3-7抑止アンカー工 第3編3-1-5アンカー	ーエ 4-63
第 4 節 擁壁工 3 - 4 - 3 既製杭工 第 3 編 2 - 4 - 4 既製杭工	L 4-41
3-4-4場所打擁壁工 第3編3-1-2場所打	雍壁工 4-62
3-4-5プレキャスト擁 第3編3-1-3プレキュ 壁工	ャスト擁 4-62
3-4-6補強土壁工 第1編2-3-4補強土壁工	達工 4-29
3-4-7井桁ブロック工 第3編3-1-4井桁ブロックエ	コックエ 4-63
3-4-8 落石防護工 第 3 編 3-4-2 落石防護	進柵工 4-68
第 5 節 山腹水路工 3 - 5 - 3 山腹集水路・排 第 3 編 3 - 1 - 7 場所打ス 水路工 第 3 編 3 - 1 - 7 場所打ス	水路工 4-64
3-5-4山腹明暗渠工	4-102
3-5-5山腹暗渠工 第3編3-1-9暗渠工	4-64
3-5-6現場打水路工 第3編3-1-7場所打力	水路工 4-64
3-5-7集水桝工 第3編3-1-8集水桝二	L 4-64
第6節 地下水排除工 3-6-4集排水ボーリン グエ	4-103
3-6-5集水井工	4-103
第 7 節 地下水遮断工 3 - 7 - 3 場所打擁壁工 第 3 編 3 - 1 - 2 場所打掛	雍壁工 4-62
3-7-4固結工 第3編2-7-9固結工	4-58
3-7-5 矢板工 第3編2-3-4 矢板工	4-32
第8節 抑止杭工 3-8-3既製杭工 第3編2-4-4既製杭工	L 4-41
3-8-4場所打杭工 第3編2-4-5場所打杭	亢工 4-41
3-8-5シャフトエ (深 第3編2-4-6深礎工 礎工)	4-41
3-8-6合成杭工	4-103

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第9編 ダム編】

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第1章	コンクリートタ	ľД			
第 4 節		1-4コンクリートダム工 (本体)			4-104
		1-4コンクリートダム工 (水叩)			4-104
		1-4コンクリートダム工 (副ダム)			4-105
		1-4コンクリーダム工 (導流壁)			4-106
第2章	フィルダム				
第 3 節	盛立工	2-3-5コアの盛立			4-107
		2-3-6フィルターの盛 立			4-107
		2-3-7ロックの盛立			4-107
		2フィルダム(洪水吐)			4-108
第3章	基礎グラウチン	グ			
第 3 節	ボーリングエ	3-3ボーリング工			4-108

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
** 4 **			7人(田)	中川 する田木// 自在基中	Ä.
第1章	道路改良	1 0 0 应立时士操制/6	本文 10 十 14 11 16 T		
第3節	工場製作工	1-3-2遮音壁支柱製作 工			4-109
			工場塗装工	第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第4節	法面工	1-4-2植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
		1-4-3法面吹付工		第3編2-3-6吹付工	4-32
		1-4-4法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
		1-4-6アンカー工		第3編3-1-5アンカー工	4-63
		1-4-7かご工	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、かご枠	4-66
第5節	擁壁工	1-5-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		1-5-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		1-5-5場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		1-5-6プレキャスト擁		第3編3-1-3プレキャスト擁	4-62
		壁工	147/1 /	壁工	4 02
		1-5-7補強土壁工	補強土(テールアル メ)壁工法		4-109
			多数アンカー式補強 土工法		4-109
			ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		4-109
		1-5-8井桁ブロックエ		第3編3-1-4井桁ブロックエ	4-63
第6節	石・ブロック積 (張)エ	1-6-3コンクリートブ ロック工		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
		1-6-4石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
第7節	カルバートエ	1-7-4 既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		1-7-5場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		1-7-6場所打函渠工			4-109
		1-7-7プレキャストカ ルバートエ		第3編3-4-1プレキャストカ ルバートエ	4-68
第8節	排水構造物工	1-8-3側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-64
	(小型水路工)	1-8-4管渠工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		1-8-5集水桝・マン ホール工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		1-8-6地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
		1-8-7場所打水路工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
		1-8-8排水工(小段排		第3編3-1-6側溝工	4 64
		水・縦排水)			4-64
第9節	落石雪害防止工	1-9-4落石防止網工			4-109
		1-9-5落石防護柵工		第3編3-4-2落石防護柵工	4-68
		1-9-6 防雪柵工			4-109
		1-9-7雪崩予防柵工			4-110
第10節	遮音壁工	1-10-4遮音壁基礎工			4-110
		1-10-5遮音壁本体工			4-110
第2章	舗装				
第3節	舗装工	2-3-5アスファルト舗 装工		第3編2-6-5アスファルト舗 装工	4-45
		2-3-6半たわみ性舗装 エ		第3編3-4-27半たわみ性舗装 エ	4-80
		2-3-7排水性舗装工		第3編3-4-28排水性舗装工	4-82
		2-3-8透水性舗装工		第3編3-4-30透水性舗装工	4-85
		2-3-9グースアスファ ルト舗装工		第3編3-4-29グースアスファ ルト舗装工	4-84
		2-3-10コンクリート舗		第3編2-6-6コンクリート舗	4 40
		装工		装工	4-48
		-	-	•	

※「準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第10	婦 退路編】	T	1		ı
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第3節	舗装工	2-3-11薄層カラー舗装 工		第3編2-6-7薄層カラー舗装 工	4-52
		2-3-12ブロック舗装工		第3編2-6-8ブロック舗装工	4-54
		2-3歩道路盤工			4-111
		2-3取合舗装路盤工			4-111
		2-3路肩舗装路盤工			4-111
		2-3歩道舗装工			4-111
		2-3取合舗装工			4-111
		2-3路肩舗装工			4-111
第4節	排水構造物工	2-3表層工 2-4-3側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-111 4-64
	(路面排水工)	2-4-4管渠工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		2-4-5集水桝(街渠		第3編3-1-8集水桝工	
		桝)・マンホール工		210 - 101111 2100 - 101	4-64
		2-4-6地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
		2-4-7場所打水路工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
		2-4-8排水工(小段排		第3編3-1-6側溝工	4-64
		水・縦排水) 2-4-9排水性舗装用路			
		肩排水工			4-112
第 5 節	縁石工	2-5-3縁石工		第3編2-3-8縁石工	4-33
第6節	踏掛版工	2-6-4踏掛版工	コンクリート工		4-112
			ラバーシュー		4-112
			アンカーボルト		4-112
第7節	防護柵工	2-7-3路側防護柵工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		2-7-4防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		2-7-5ボックスビーム		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		2-7-6車止めポストエ		第3編2-3-10防止柵工	4-34
第 8 節	標識工	2-8-3小型標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
		2-8-4大型標識工	標識基礎工		4-112
			標識柱工		4-112
第9節	区画線工	2-9-2区画線工		第3編2-3-12区画線工	4-35
第11節	道路付属施設工	2-11-4道路付属物工 2-11-5ケーブル配管工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
		2 -11-57 - フル配官工	ハンドホール		4-113 4-113
		2-11-6照明工	照明柱基礎工		4-113
第12節	橋梁付属物工	2-12-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
第3章	橋梁下部			No o Apin o T To I Thin access	1 10
第 3 節	工場製作工	3-3-2 刃口金物製作工		第3編3-1-10刃口金物製作工	4-65
		3-3-3鋼製橋脚製作工			4-114
		3-3-4アンカーフレー		第3編3-4-10アンカーフレー	4-73
		ム製作工		ム製作工	
55 A 55	 橋台工	3-3-5工場塗装工 3-4-3既製杭工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第4節	简ロ土	3-4-3		第3編2-4-4既製杭工 第3編2-4-5場所打杭工	4-41 4-41
		3-4-5深礎工		第3編2-4-6深礎工	4-41
		3-4-6オープンケーソ		第3編2-4-7オープンケーソ	4-42
		ン基礎工 3-4-7ニューマチック		ン基礎工 第3編2-4-8ニューマッチク	4-42
		ケーソン基礎工		ケーソン基礎工	
年 - 年	D C 括明 T	3-4-8橋台躯体工		空 050 4 4町割七子	4-115
第 5 節	RC橋脚工	3-5-3既製杭工 3-5-4場所打杭工		第3編2-4-4既製杭工 第3編2-4-5場所打杭工	4-41
		3-5-4場所打机工3-5-5深礎工		第3編2-4-5場所打机工	4-41 4-41
		ひっぴーぴ休姫上		おり柵と一4一り休暎上	4-41

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第10編 追始編,	_	1	_	
章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第5節 RC橋脚工	3-5-6オープンケーソ ン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	4-42
	3-5-7ニューマチック ケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマッチク ケーソン基礎工	4-42
	3-5-8鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工	4-42
	3-5-9橋脚躯体工	張出式		4-116
		重力式	第10編3-5-9橋脚躯体工	4-116
		半重力式	第10編3-5-9橋脚躯体工	4-116
		ラーメン式		4-117
第6節 鋼製橋脚工	3-6-3 既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
	3-6-4場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	4-41
	3-6-5深礎工		第3編2-4-6深礎工	4-41
	3-6-6オープンケーソ ン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソ ン基礎工	4-42
	3-6-7ニューマチック ケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマッチク ケーソン基礎工	4-42
	3-6-8鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工	4-42
	3-6-9橋脚フーチング	I型・T型		4-117
	I	門型		4-118
	3-6-10橋脚架設工	I型・T型		4-118
		門型		4-118
	3-6-11現場継手工		Me o le o	4-118
// - // = // = // ++ /+	3-6-12現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
第 7 節 護岸基礎工	3-7-3基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	4-40
第 8 節 矢板護岸工	3-7-4矢板工 3-8-3笠コンクリート		第3編2-3-4矢板工 第3編2-4-3基礎工(護岸)	4-32
第 O 即 大似暖片工	エ			4-40
安 0 年 - 辻悪諾出て	3-8-4矢板工		第3編2-3-4矢板工	4-32
第 9 節 法覆護岸工	3-9-2コンクリートブ ロックエ		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
	3-9-3護岸付属物工		第3編3-2-8護岸付属物工	4-67
	3-9-4緑化ブロックエ		第3編2-5-4緑化ブロック工	4-44
	3-9-5環境護岸ブロッ クエ		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
	3-9-6石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
	3-9-7法枠工	ニオギャ	第3編2-3-5法枠工	4-32
	3-9-8多自然型護岸工		第3編3-2-1巨石張り、巨石積み	4-65
	3-9-8多自然型護岸工		第3編3-2-1巨石張り、巨石 積み	4-65
	0 0 0-111-	かごマット	第3編3-2-2かごマット	4-66
	3-9-9吹付工		第3編2-3-6吹付工	4-32
	3-9-10植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
	3-9-11覆土工	10 a d >0	第1編2-3-5法面整形工	4-30
	3-9-12羽口工	じゃかご ふとんかご	第3編3-2-3じゃかご 第3編3-2-4ふとんかご、か	4-66
			ご枠	4-66
		かご枠	第3編3-2-4ふとんかご、かご枠	4-66
## 10 ## bir DV =# 14		連節ブロック張り	第3編2-5-3-2連節ブロッ ク張り	4-43
第10節 擁壁護岸工	3-10-3場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
	3-10-4プレキャスト擁壁工		第3編3-1-3プレキャスト擁壁工	4-62
第4章 鋼橋上部	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
第 3 節 工場製作工	4-3-3桁製作工		第3編2-3-14桁製作工	4-36
プログル 上勿衣 トエ	1. 0 0 maxif-1]	NA O MILE O TAILING IN	7 UU

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第10	柵 追始柵』	_			
<u>-</u>	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 3 節	工場製作工	4-3-4検査路製作工		第3編3-4-3検査路製作工	4-69
		4-3-5鋼製伸縮継手製 作工		第3編3-4-4鋼製伸縮継手製作工	4-69
		4-3-6落橋防止装置製 作工		第3編3-4-5落橋防止装置製作工	4-69
		4-3-7鋼製排水管製作 工		第3編3-4-6鋼製排水管製作 工	4-69
		4-3-8橋梁用防護柵製 作工		第3編3-4-8橋梁用防護柵製作工	4-70
		4-3-9橋梁用高欄製作 工			4-119
		4-3-10横断歩道橋製作 工		第3編2-3-14桁製作工	4-36
		4-3-11鋳造費		第3編3-4-9鋳造費	4-71
		4-3-12アンカーフレー ム製作工		第3編3-4-10アンカーフレー ム製作工	4-73
		4-3-13工場塗装工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第4節	鋼橋架設工	4-4-4架設工 (クレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-5架設工 (ケーブ ルクレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-6架設工(ケーブ ルエレクション架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-7架設工(架設桁 架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-8架設工(送出し 架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-9架設工 (トラベ ラークレーン架設)		第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
		4-4-10支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
第 5 節		4-5-3現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
第6節	床版工	4-6-2床版工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
第7節	橋梁付属物工	4-7-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
		4-7-5地覆工 4-7-6橋梁用防護柵工		第3編3-4-14地覆工 第3編3-4-15橋梁用防護柵 工	4-74 4-74
		4 7 7 6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		工、橋梁用高欄工	1 11
		4-7-7橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護栅工、橋梁用高欄工	4-74
## 0 ##	15 X X X X X	4-7-8検査路工		第 3 編 3 - 4 - 16検査路工	4-74
第 8 節	步道橋本体工	4-8-3既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	4-41
		4-8-4場所打杭工 4-8-5橋脚フーチング	I 型	第3編2-4-5場所打杭工 第10編3-6-9橋脚フーチング	4-41
		4 - 8 - 5 個脚ノーテンク		工	4-117
		4-8-6歩道橋架設工	T型	第10編3-6-9橋脚フーチング工	4-117
		■ 4 - × - n 元1日格学部	I	第3編3-4-18架設工(鋼橋)	4-76
				笠り短り 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 7	4 01
公日		4-8-7現場塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
	コンクリート格工場制作工	4-8-7現場塗装工 手上部			4-61
第5章 第3節		4-8-7現場塗装工 5上部 5-3-2プレビーム用桁 製作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工	4-61
		4-8-7現場塗装工 5上部 5-3-2プレビーム用桁 製作工 5-3-3橋梁用防護柵製 作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工 第3編3-4-8橋梁用防護柵製 作工	
		4-8-7現場塗装工 5上部 5-3-2プレビーム用桁 製作工 5-3-3橋梁用防護柵製 作工 5-3-4鋼製伸縮継手製 作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工 第3編3-4-8橋梁用防護柵製 作工 第3編3-4-4鋼製伸縮継手製 作工	4-70
		4-8-7現場塗装工 5上部 5-3-2プレビーム用桁 製作工 5-3-3橋梁用防護柵製 作工 5-3-4鋼製伸縮継手製 作工 5-3-5検査路製作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工 第3編3-4-8橋梁用防護柵製作工 第3編3-4-4鋼製伸縮継手製作工 第3編3-4-3検査路製作工	4-70 4-70 4-69 4-69
		4-8-7現場塗装工 5上部 5-3-2プレビーム用桁 製作工 5-3-3橋梁用防護柵製 作工 5-3-4鋼製伸縮継手製 作工		第3編3-4-7プレビーム用桁 製作工 第3編3-4-8橋梁用防護柵製 作工 第3編3-4-4鋼製伸縮継手製 作工	4-70 4-70 4-69

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

	 章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第4節	PC橋工	5-4-2プレテンション 桁製作工(購入工)	けた橋	第3編3-4-19プレテンション 桁製作工(購入工)	4-77
		们衣[F工 (焼八工)	スラブ橋	第3編3-4-19プレテンション 桁製作工(購入工)	4-77
		5-4-3ポストテンション桁製作工		第3編3-4-20ポストテンション桁製作工	4-77
		5-4-4プレキャストセ グメント製作工(購入工)		第3編3-4-21プレキャストセ グメント製作工(購入工)	4-78
		5-4-5プレキャストセ グメント主桁組立工		第3編3-4-22プレキャストセ グメント主桁組立工	4-78
		5-4-6支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-4-7架設工 (クレーン架設)		第3編3-4-26架設工 (コンク リート橋)	4-79
		5-4-8架設工(架設桁 架設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-4-9床版・横組工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
第5節	プレビー / 桁棒	5-4-10落橋防止装置工 5-5-2プレビーム桁製		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
IA C IK	工	作工(現場)			4-119
		5-5-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-5-4架設工 (クレー ン架設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-5-5架設工(架設桁 架設)		第3編3-4-26架設工 (コンク リート橋)	4-79
		5-5-6床版・横組工		第3編3-4-12床版・横組工	4-73
第6節	BC#U-75	5-5-9落橋防止装置工 5-6-2架設支保工(固		第3編3-4-34落橋防止装置工 第3編3-4-26架設工(コンク	4-86
第 0 即	ブ橋工	定)		リート橋)	4-79
		5-6-3支承工 5-6-4 P C ホロースラ		第3編3-4-17支承工 第3編3-4-23PCホロースラ	4-75
		ブ製作工		ブ製作工	4-78
		5-6-5落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
第7節	RCホロースラ ブ橋エ	5-7-2架設支保工(固定)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-7-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-7-4RC場所打ホロースラブ製作工		第3編3-4-23PCホロースラブ製作工	4-78
		5-7-5落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
第8節	PC版桁橋工	5-8-2PC版桁製作工		第3編3-4-23PCホロースラブ製作工	4-78
第9節	PC箱桁橋工	5-9-2架設支保工(固定)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
		5-9-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-9-4 P C 箱桁製作工		第3編3-4-24PC箱桁製作工	4-79
第10節	PC片持箱桁橋	5-9-5落橋防止装置工 5-10-2 P C 片持箱桁製		第3編3-4-34落橋防止装置工 第3編3-4-24PC箱桁製作工	4-86
נופטו פא	工	作工		另 5 种 5 年 2年1 C 相们 表 1 P 上	4-79
		5-10-3支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		5-10-4架設工(片持架 設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
第11節	P C押出し箱桁 橋工	5-11-2 P C 押出し箱桁 製作工		第3編3-4-25PC押出し箱桁 製作工	4-79
		5-11-3架設工(押出し 架設)		第3編3-4-26架設工(コンク リート橋)	4-79
第12節	橋梁付属物工	5-12-2伸縮装置工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
		5-12-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
		5-12-5橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

【第10篇 追路編】				
章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第12節 橋梁付属物工	5-12-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
	5-12-7検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第6章 トンネル(N.			77 3 7 10 灰玉站工	4 /4
第4節 支保工	6-4-3吹付工			4 110
5 4 即 又体工				4-119
安 - 安 - 東 -	6-4-4ロックボルトエ			4-119
第5節 覆工	6-5-3覆エコンクリー トエ			4-120
	6-5-4側壁コンクリー トエ		第10編6-5-3覆エコンクリー トエ	4-120
	6-5-5床版コンクリー トエ			4-120
第6節 インバートエ	6-6-4インバート本体 エ			4-121
第 7 節 坑内付帯工	6-7-5地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
第8節 坑門工	6-8-4坑門本体工			4-121
	6-8-5明り巻工			4-122
第7章 トンネル(矢楠				
第5節 覆工	7-5-3覆エコンクリー			
	トエ			4-122
	7-5-4床版コンクリー トエ		第10編6-5-5床版コンクリー トエ	4-120
第6節 インバートエ	7-6-4インバート本体 工			4-123
第 7 節 坑内付帯工	7-7-5地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
第12章 共同溝	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		214 - 4114	1 01
第 3 節 工場製作工	12-3-3工場塗装工		第3編2-3-15工場塗装工	4-39
第 5 節 現場打構築工	12-5-2現場打躯体工		37.6 mm 2	4-124
お の ぬ が物 川州朱工	12-5-4カラー継手工			4-124
	12-5-5防水工	防水		4-124
		防水保護工		
		防水壁		4-124
第 6 節 プレキャスト権	は 12-6-2プレキャスト躯	的小堂		4-125
築工	# 12-6-27レキャスト級 体工			4-125
第13章 電線共同溝				
第 5 節 電線共同溝工	13-5-2管路工(管路 部)			4-125
	13-5-3プレキャスト			4-126
	ボックス工(特殊部)			4 120
第 6 節 付帯設備工	13-6-2ハンドホールエ			4-126
第14章 情報ボックス				T 14U
	□ 14-3-3管路工(管路 部)		第10編13-5-2管路工(管路 部)	4-125
第 4 節 付帯設備工	14-4-2ハンドホール 工		第10編13-6-2ハンドホール工	4-126
<u> </u>	15-4-3路面切削工		第 3 編 3 - 4 - 31路面切削工	1_06
저구씨 배衣工	15-4-4舗装打換え工		第3編3-4-32舗装打換え工	4-86 4-86
	15-4-5切削オーバーレイエ			4-127
	15-4-6オーバーレイ エ		第3編3-4-33オーバーレイエ	4-86
	<u></u> 15-4-7路上再生工			4-127
	10 1 NHTHTT			T 141
	15-4-8薄層カラー舗		第3編2−6−7薄層カラー舗装	4-52

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

おり	/柵 坦 / 畑 /		•	-	
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第5節	排水構造物工	15-5-3側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		15-5-4 管渠工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		15-5-5集水桝・マン ホール工		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		15-5-6地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
		15-5-7場所打水路工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
		15-5-8排水工		第3編3-1-6側溝工	4-64
第6節		15-6-2路側防護柵工		第3編3-1-0側構工	
あり即	闪设而工	15-6-3防止柵工		第3編2-3-11路側別護柵工	4-34
		15-6-3防止柵上 15-6-5ボックスビーム		第3編2-3-10的正栅工	4-34
		エ		第 5 柵 2 — 5 — 11 岭侧则谩뻬 工	4-34
		15-6-6車止めポストエ		第3編2-3-10防止柵工	4-34
第7節	標識工	15-7-3小型標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
		15-7-4大型標識工		第10編2-8-4大型標識工	4-112
第8節	道路付属施設工	15-8-4道路付属物工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
		15-8-5ケーブル配管工		第10編 2 -11-5 ケーブル配管工	4-113
		15-8-6照明工		第10編 2 -11 - 6 照明工	4-113
第9節	 擁壁工	15-9-3場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
7,5 0 24.	<i>></i>	15-9-4プレキャスト擁		第3編3-1-3プレキャスト擁	
		壁工		壁工	4-62
第10節	石・ブロック積	15-10-3コンクリートブ		第3編2-5-3コンクリートブ	4 49
	(張) 工	ロックエ		ロックエ	4-43
		15-10-4石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
第11節	カルバートエ	15-11-4場所打函渠工		第10編1-7-6場所打函渠工	4-109
		15-11-5プレキャストカ ルバートエ		第3編3-4-1プレキャストカ ルバートエ	4-68
第12節	法面工	15-12-2植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
		15-12-3法面吹付工		第3編2-3-6吹付工	4-32
		15-12-4法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
		15-12-6アンカーエ		第3編3-1-5アンカーエ	4-63
		15-12-7かごエ	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、か	4-66
55 1 A 55	长沙八尺头子	15 14 0 件始处工工		ご枠	
第14節	橋梁付属物工	15-14-2伸縮継手工		第3編3-4-13伸縮装置工	4-73
		15-14-4地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
		15-14-5橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
		15-14-6橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
				第3編3-4-16検査路工	4-74
第16節	現場塗装工	15-16-6コンクリート面		第3編2-3-16コンクリート面	
		塗装工		塗装工	4-40
	道路修繕				
第 3 節	工場製作工	17-3-4桁補強材製作工			4-128
		17-3-5落橋防止装置製 作工		第3編3-4-5落橋防止装置製作工	4-69
第4節	舗装工	17-4-3路面切削工		第3編3-4-31路面切削工	4-86
		17-4-4舗装打換え工		第3編3-4-32舗装打換え工	4-86
		17-4-5切削オーバーレ		第10編15-4-5切削オーバーレ	4-127
		イエ		イエ	1 141
		17-4-6オーバーレイエ		第3編3-4-33オーバーレイエ	4-86
		17-4-7路上再生工		第10編15-4-7路上再生工	4-127
		17-4-8薄層カラー舗装 工		第3編2-6-7薄層カラー舗装 工	4-52
		17-4-10歩道舗装修繕工		第10編2-3歩道路盤工、歩道舗 装工	4-111
		1	1	j =	

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

	77篇 但岭州』	T	T .	1	
	章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第 5 節	排水構造物工	17-5-3側溝工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		17-5-4管渠工		第3編3-1-6側溝工	4-64
		17-5-5集水枡・マン ホールエ		第3編3-1-8集水桝工	4-64
		17-5-6地下排水工		第3編3-1-9暗渠工	4-64
		17-5-7場所打水路工		第3編3-1-7場所打水路工	4-64
		17-5-8排水工		第3編3-1-6側溝工	4-64
第6節	縁石工	17-6-3縁石工		第3編2-3-8縁石工	4-33
第7節	防護柵工	17-7-3路側防護柵工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		17-7-4 防止柵工		第3編2-3-10防止柵工	4-34
		17-7-5ボックスビーム 工		第3編2-3-11路側防護柵工	4-34
		17-7-6車止めポストエ		第3編2-3-10防止柵工	4-34
第8節	標識工	17-8-3小型標識工		第3編2-3-9小型標識工	4-33
		17-8-4大型標識工		第10編2-8-4大型標識工	4-112
第9節	区画線工	17-9-2区画線工		第3編2-3-12区画線工	4-35
第11節	道路付属施設工	17-11-4道路付属物工		第3編2-3-13道路付属物工	4-35
		17-11-5ケーブル配管工		第10編2-11-5ケーブル配管工	4-113
		17-11-6照明工		第10編2-11-6照明工	4-113
第12節	擁壁工	17-12-3場所打擁壁工		第3編3-1-2場所打擁壁工	4-62
		17-12-4プレキャスト擁 壁工		第3編3-1-3プレキャスト擁 壁工	4-62
第13節	石・ブロック積 (張) エ	17-13-3コンクリートブ ロックエ		第3編2-5-3コンクリートブロックエ	4-43
		17-13-4石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	4-44
第14節	カルバートエ	17-14-4場所打函渠工		第10編1-7-6場所打函渠工	4-109
		17-14-5プレキャストカ ルバートエ		第3編3-4-1プレキャストカ ルバート工	4-68
第15節	法面工	17-15-2植生工		第3編2-3-7植生工	4-33
		17-15-3法面吹付工		第3編2-3-6吹付工	4-32
		17-15-4法枠工		第3編2-3-5法枠工	4-32
		17-15-6アンカーエ		第3編3-1-5アンカーエ	4-63
		17-15-7かご工	じゃかご	第3編3-2-3じゃかご	4-66
			ふとんかご	第3編3-2-4ふとんかご、かご枠	4-66
第16節	落石雪害防止工	17-16-4落石防止網工		第10編1-9-4落石防止網工	4-109
		17-16-5落石防護柵工		第3編3-4-2落石防護柵工	4-68
		17-16-6 防雪柵工		第10編1-9-6 防雪柵工	4-109
		17-16-7雪崩予防柵工		第10編1-9-7雪崩予防柵工	4-110
第18節	鋼桁工	17-18-3鋼桁補強工		第10編17-3-4桁補強材製作工	4-128
第19節	橋梁支承工	17-19-3鋼橋支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
		17-19-4 P C 橋支承工		第3編3-4-17支承工	4-75
第20節	橋梁付属物工	17-20-3伸縮継手工		第3編3-4-13伸縮継手工	4-73
		17-20-4落橋防止装置工		第3編3-4-34落橋防止装置工	4-86
		17-20-6地覆工		第3編3-4-14地覆工	4-74
		17-20-7橋梁用防護柵工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
		17-20-8橋梁用高欄工		第3編3-4-15橋梁用防護柵 工、橋梁用高欄工	4-74
		17-20-9検査路工		第3編3-4-16検査路工	4-74
第23節	現場塗装工	17-23-3橋梁塗装工		第3編3-1-1現場塗装工	4-61
		17-23-6コンクリート面		第3編2-3-16コンクリート面	4-40
		塗装工		塗装工	1 10

^{※「}準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

111/	ハルト	3 × II /	B-7/	\\ \\ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	祝俗恒 男 1 神 ヲ	地地層				半位:
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
1 共通編	2 土 工	3河川	2		掘削工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2箇		
連編	上					法 長 0 < 5 m	-200	所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
		海岸・				$\ell = \ell \leq 5 \mathrm{m}$	法長-4%	左手向は低的向が、 四端 (例に。	7	
		砂防土工							1 / ***	
		4								
1 共通編	2 土 工	3 河 川	3		盛土工	基準高▽	-50	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
編	1					法 長 0 < 5 m	-100	所。 基準高は各法肩で測定。	W.	
		海岸・				$\ell = 0$ $\ell \geq 5 \mathrm{m}$	法長一2%	至于问话"日本月、代例人。	<u> </u>	
		砂防土工				幅 w ₁ , w ₂	-100			
		主							1 1	
									(Palita)	
1 共通編	2 土 工	3 河 川	4		盛土補強工 (補強土(テールアル	基 準 高 ▽	-50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
編		川・ 海 岸			メ)壁工法) (多数アンカー式補強	厚 さ t	-50	所。		
		•			土工法) (ジオテキスタイルを	控え長さ	設計値以上			
		砂防土工			用いた補強土工法)				▽	
		工							/ =	
									/ —	

111/	1 \ /// F	1 1 1		\ \ \ /	兄俗但 另工棚 尹	一世	IJ						半江,Ⅲ
編	章	節	条	枝番	工 種	Ú	則 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測	定 箇	所	摘要
1共通編	2 土 工	3河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工 (盛土部)	J	享 さ t	% -30	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。	_t*//_	t //	*	
1共通編	2 土 工	3河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ t	t <15cm t ≧15cm ⊞ w	-25 -50 -100	幅は、施工延長40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは、施工延長100mにつき1箇所、100m以下は2箇所、中央で測定。		w	,	
1共通編	2 ± I	4道路土工	2		掘削工	法長の	基 準 高 ▽	±50 -200 法長-4% -100	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所。 基準高は、道路中心線及び端部で測 定。		w t		

出来形管理基準及び規格値 第1編 共通編

単位:mm

ЩЛ	トルノト	1 / 1 /	△	X U .	現俗胆 男1補 き	地		-		中 世:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
1 共通編	2 土 工	4道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
編	上	路土工				法 長 0 < 5 m	-100	所。 基準高は、道路中心線及び端部で測		
		т.				$\ell = \ell \leq 5 \mathrm{m}$	法長-2%	定。	₩ ₁	
						幅 W ₁ , W ₂	-100		W ₂ V V	
									Toursman T	
1 共通編	2 土 工	4 道	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※ −30	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
連編	上	4道路土工						所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
		4						水上が111ラックので物口に通用。	·// 1	
									I FI FI I FI	
1 #:	3無筋、	7 鉄	4		鉄筋の組立て	平均間隔 d	± φ	D		
1 共通編		鉄筋工					±φħνつ	$d = {n-1}$		
	鉄筋コ					かぶり t	最小かぶり 以内	D:本間の長さ		
	ンク							n:10本程度とする φ:鉄筋径		
	リート								·	
	,							工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上		
								測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書 (構造性能照査編9.2) 参照		
								注 1)重要構造物かつ主鉄筋について 摘要する。		
								注 2) 橋梁コンクリート床版桁 (PC橋 含む) の鉄筋については、第3編3-4 -12床版・横組工を適用する。		

ЩЛ	\ / /	7 -1-2		~ _	が、行に カラ州 コ	L/ *-	上事共坦州		•		半江
編	章	節	条	枝番	•		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施丁	3 共通的工	4		矢板工 [指定仮設・任 意仮設は除く] (鋼矢板)		基準高▽ 根入長	±50 設計値以上	基準高は施工延長 40mにつき1箇 所、延長40m以下のものは1施工箇 所につき2箇所。	ı U	
事	工	工種			(軽量鋼矢板)				変位は、施工延長 20mにつき1箇	cir y n	
通編		1里			(コンクリート矢板) (広幅鋼矢板)		変 位 0	100	所、延長20m以下のものは1施工箇 所につき2箇所。	- nemenen	
7410					(可とう鋼矢板)						
3 土	2一般施工	3 共	5	1	法枠工 (現場打法枠工)	法長	ℓ <10m	-100	施工延長40mにつき1箇所、延長40 m以下のものは1施工箇所につき2		曲線部は設計図書によ
3 土木工事共通編	般施工	共通的工			(現場吹付法枠工)	Q Q	0 ≧10m	-200	箇所。	L ⁶ J	ある
争共通	上	種				1	幅 w	-30	枠延延長40mにつき1箇所、枠延延 長 40m以下のものは1施工箇所につ		
編							高 さ h	-30	き2箇所。	a h	
							次付枠中心間隔 a	±100			
							延 長 L	-200	1 施工箇所毎	111 111	
3 ±	2一般施工	3 共	5	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	ℓ <10m	-100	施工延長40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2		
木工東	般施工	3 共通的工種				Q.	0 ≧10m	-200	箇所。		
3 土木工事共通編	上	種					延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
編											
3 土	2一般施工	3 共	6		吹付工 (コンクリート)	法長	$\ell < 3 \mathrm{m}$	-50	施工延長40mにつき1箇所、40m以 下のものは1施工箇所につき2箇		
木工	般施工	共通的工種			(モルタル)	Q.	ℓ ≧ 3 m	-100	所。	Mark 1	
3 土木工事共通編	上	種					$t < 5\mathrm{cm}$	-10	100㎡につき1箇所以上、100㎡以下 は2箇所をせん孔により測定。		
編						厚さ	$t \ge 5\mathrm{cm}$	-20	ずみる回川で せんれいこより 例た。		
						t	但し、吹付面に凹凸だ 最小吹付厚は、設計厚 とし、平均厚は設計厚	■の50%以上			
							延 長 L	-200	1 施工箇所毎		

出来形管理基準及び規格値 第3編 土木工事共通編

単位:mm

щ/	トハノト	3 7 7 4	B — //	~ _		L/ \-	工事共進柵				平江
編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	2	3 共	7	1	植生工 (種子散布工)	切十	$\ell<5\mathrm{m}$	-200	施工延長40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2		
3 土木工事共通編	般施工	5共通的工種			(張芝工) (筋芝工) (市松芝工)	切土法長ℓ	ℓ ≧ 5 m	法長の一4%	箇所。		
編					(植生シート工) (植生マット工)	盛十	$\ell<5\mathrm{m}$	-100			
					(植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	盛土法長の	$\ell \ge 5 \mathrm{m}$	法長の一2%			
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		延 長 L	-200	1施工箇所毎		
3 ±	2	3 共3	7	2	植生工 (植生基材吹付工)	法長	$\ell < 5 \mathrm{m}$	-200	施工延長40mにつき1箇所、40m以 下のものは1施工箇所につき2箇		
一工工	般施工	共通的工種			(客土吹付工)	ê	$\ell \geq 5 \mathrm{m}$	法長の一4%	所。		
土木工事共通編		種					$t < 5\mathrm{cm}$	-10	施工面積100㎡につき1箇所、面積 100㎡以下のものは、1施工箇所に		
編						厚さ	$t \geqq 5\text{cm}$	-20	つき2箇所。 検査孔により測定。		
						t	但し、吹付面に凹凸 最小吹付厚は、設計原 とし、平均厚は設計原	享の50%以上	1火上11により100尺。		
							延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
3 ±	2	3 共	8		縁石工 (縁石・アスカーブ)		延 長 L	-200	1箇所/1施工箇所		
土木工事共通編	般施工	5共通的工種									
3 土木工事共通編	2 一 如	3 共通	9		小型標識工	設	世 高 さ H	設計値以上	1箇所/1基	w(D)	
一工事	般施工	5共通的工種					幅 w (D)	-30	基礎1基毎		
共通		種				基礎	高さ h	-30		H	
編							根入れ長	設計値以上			
										TRINSING	

Щ/Л/	N/P P4	坐十	X U .	規格値 男 ろ柵 ユ	小工事共理쨰	<u> </u>
編	章 節	条	枝番		測定項目 規格値 測定基準 測定箇所	摘要
+	2 一般施工 3共通的工種	10		防止柵工 (立入防止柵) (転落 (横断) 防止柵) (車止めポスト)	基礎 幅 w -30 単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1箇所測定。 パイプ取付高 H +30 -20 1箇所/1施工箇所	Н
+	2一般施工 3共通的工種	11		路側防護柵工 (ガードレール)	基礎 幅 w -30 1 箇所/施工延長 40m 40m以下のものは、2 箇所/1 施工箇所 所。 ビーム取付高 H +30 -20 1 箇所/1 施工箇所	
3 土木工事共通編	2 一般施工 3共通的工種	11	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	幅 w -30 高 さ h -30 延 長 L -100 ケーブル取付高 H +30 -20 1 箇所/1 施工箇所 日本 中央 上海 山田 上海 上海	

出来形管理基準及び規格値 第3編 土木工事共通編

単位:mm

ЩЛ	\/// E	1 -1-2	<u> </u>	~ • ,	祝俗他 男 3 補 I	二个工事共进栅				中 位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般	3 共通的工種	12		区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1箇所テストピースにより測定。		
工事	般施工	的工				幅 w	設計値以上			
共通.		種								
編										
3	2	3	13		道路付属物工	高 さ h	±30	1 箇所/10本		
3 土木工事共通編	一般施工	3 共通的工種			(視線誘導標) (距離標)	同 さ 11	50	10本以下の場合は、2箇所測定。		
事	施工	的工績			(坪二河此1示/					
通編		1里							8-7	
									h	
									• •	

出米	计分官	了理点	8年/	文 () :	現格値 第3編 二		<u> </u>					単位:mm
編	章	節	条	枝番			測 定 項 目	規格値	測定	基 準トラス・アーチ等	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	14	1	桁製作工 (仮組立による検査を 実施する場合) (シミュレーション仮 組立検査を行う場合)		フランジ幅w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\begin{array}{l} \pm \ 2 \cdots \cdots \\ \text{w} \leq 0.5 \\ \pm \ 3 \cdots \cdots \\ 0.5 < \text{w} \leq 1.0 \\ \pm 4 \cdots \cdots \\ 1.0 < \text{w} \leq 2.0 \\ \pm (3+\text{w}/2) \\ 2.0 < \text{w} \end{array}$	主げた・主構 各支点及び各支間中 床組など 構造別に、5部材に 取った部材の中央付	(つき1個抜き	h w h b b h i i i i i i i i i i i i i i i i	
						部	板の平面度 ○ (□□) 鋼がた及びトラ腹 一切	,	主げた 各支点及び各支間中 h:腹板高 (mm) b:腹板又はリブ w:フランジ幅 (i	の間隔(mm)	b δ	
						材精度	δ (mm)	w/200			*/2	
							部材長 ℓ (田) トラス、アーチなど		原則として仮組立をについて、主要部材			
							圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ ∕1000		主要部材全数を測定。 & :部材長(mm)	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	

※規格値のw, l に代入する数値はm単位の数値である。

ただし、「板の平面度 δ ,フランジの直角度 δ ,圧縮材の曲り δ 」の規格値のb ,b ,w ,v に代入する数値はvm単位の数値とする。

出出	や形官	了埋去	と华.	ダ ()	規格値 第3編 二	上不	1上事共連編					単位:mm_
編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測定		測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	14	1	桁製作工 (仮組立による検査を 実施する場合)		全長、支間長 L (m)	± (10+L/10)	鋼げた等 主げた、主構全数を	鋼げた等 測定。	全長 全長 L L L	
通編					(シミュレーション仮 組立検査を行う場合)		主げた、主構の中心 間距離 B (m)	± 4 ······B≦ 2 ± (3+B/2) ······B> 2	各支点及び各支間中	中代近を測定。	Interded I	
							主構の組立高さ h (m)	$\pm 5 \cdot \dots \cdot h \leq 5$ $\pm (2.5 + h/2)$ $\dots \cdot h > 5$	_	両端部及び中心部 を測定。	h II	
						仮	主げた、主構の通り δ (mm)	5+L/5····· L≦100 25······L>100	点及び支間中央の 1 L:測線上 (m)		主 if た L	
						組立精	主げた、主構のそり δ (mm)	$ \begin{array}{l} -5 \sim +5 \cdots \cdot L \leq 20 \\ -5 \sim +10 \cdot \cdots \cdot \\ 20 < L \leq 40 \\ -5 \sim +15 \cdot \cdots \cdot \\ 40 < L \leq 80 \\ -5 \sim +25 \cdot \cdots \cdot \\ 80 < L \leq 200 \end{array} $	10〜12m間隔を測定。 L:主げたの 支間長 (m)	L: 主構の支間長 (m)	L S	
						度	主げた、主構の橋端 における出入差 δ (mm)	設計値±10	どちらか一方の主は 測定。		が (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	
							主げた、主構の鉛直 度 δ (mm)	3+h/1,000	測定。 h : 主げたの高さ (mm)	(mm)	δ	
							現場継手部のすき間 δ_1 , δ_2 (mm)	設計値±5	主げた、主構の全組測定。 δ 1、 δ 2のうち大き設計値が5mm以下のを認めない。	きいもの	δ ₁ δ ₂	

※規格値のL, B, h に代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ 」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。 出来形管理基準及び規格値 第3編 土木工事共通編

単位: mm

出	人形官	了埋去	と 準力	ダ ()	規格値 第3編 📑	上不	·工事共通編					単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目		規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	14	2	桁製作工 (仮組立検査を実施し ない場合)		フランジ幅w(m 腹板高 h(m 腹板間隔 b′ (m)	1)	± 3 ······	主げた、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取っ た部材の中央付近を測定。	h I 型鋼げた	
						÷17	鋼げた等の音の腹板の腹板箱げた等のご ンジ網床版の ンッキプレート		h/250 b/150	主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h:腹板高 (mm) b:腹板又はリブの間隔 (mm) w:フランジ幅 (mm)	b δ	
						部材精度	フランジの直角』 δ(mm)		w/200		δ	
							部材長 (田)		$\pm 3 \cdots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots$ $\ell > 10$	主要部材全数を測定。		

※財務値 σ_{W_i} 0 に代入する数値 σ_{W_i} 0 に代入する数値 σ_{W_i} 0 に代入する数値 σ_{W_i} 0 に代入する数値 σ_{W_i} 0 の財務値 σ_{W_i} 0 に代入する数値 σ_{W_i} 0 の対象値とする。

ЩЯ	マハショ	144.2	区中人	X U	規俗恒 男ろ柵 エ					中 址:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	14	3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮 組立時))	部 材 の 水 平 度 堤 長 ℓ 堤 幅 W 堤 幅 W	$ \begin{array}{r} 10 \\ \pm 30 \\ \pm 10 \\ \pm 30 \\ \pm 10 \\ \pm 10 \end{array} $	全数を測定。	H H H H H H H H H	
2	0	r	15		T. III 26/14-T	ベースプレートの高さ本体の傾き	±10 ±H/0.5	プログサがプロン エロウ よ と) フロ	W ₂ U W ₂ U U U U U U U U U	
3 土木工事共通編	2一般施工	3共通的工種	15		工場塗装工	· 遠 膜 厚	膜厚の平均 値は、目標 塗膜厚合計 値の90%以 上。	工場塗装終了時に測定。ただし、工場で上塗りまで塗装する場合は、下塗り終了時と上塗り終了時に測定。なお、鋼道路橋塗装・防食便覧でいうC塗装系の場合は、無機ジンクリッチペイントの塗布後にも測定。 1ロットの大きさは、500㎡とする。 1ロット当たり測定数は 25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		

ш	14/1/	1 . 11.		~ ·	兄作性 弁り柵 ユ	_/N_工事:	/ \	/IIII			半江・Ⅲ
編	章	節	条	枝番	工 種	測	定項	E .	規格値	測定基準測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	3 共通的工種	16		コンクリート面塗装工	途	膜	厚	鋼道路橋塗装・ 食便覧Ⅱ-74「夛 Ⅲ.5.5 各塗料の標準使用量と標 標準使用量と標 膜厚」の標準使 量以上。	金装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗付作業の開始前に搬入量(充缶数)と、塗付作業終了時に使用量(空缶数)を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1 ロットの大きさは500㎡とする。	
3 土木工事共通編	2一般施工	4基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅厚さ延		w t ₂	設計値以上 -30 各構造物の規 値による	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。	
3 土木工事共通編	2一般施工	4基礎工	α	1	基礎工(護岸) (現場打)	基。高	さ	w h L	±30 -30 -30 -200	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。	

ЩЛ	ヘハン 巨	i +±2	△ →/	X O 7	祝俗旭 男3柵 ユ	一个上争共进桶				中 位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	2	4 基	3	2	基礎工 (護岸) (プレキャスト)	基 準 高 ▽	±30	施工延長 40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2箇		
3 土木工事共通編	般施工	基礎工				延 長 L	-200	所。		
井	上								<u></u>	
編										
3	2	4 其	4		既製杭工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。		
末	一般施工	4基礎工			(既製コンクリート杭) (鋼管杭)	根 入 長	設計値以上		$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
3土木工事共通編	Ĩ				(H鋼杭)	偏心量d	D/4以内かつ		ſ	
通編						1/m 心 里 a	100以内			
									ンゴッ _世	
									ド ×	
3	2	4	5		場所打杭工			全数について杭中心で測定。	0000	
土木		4基礎工	J		100171111716-L	基準高▽	±50	Eggle 2V Chi la Chaze,	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
工事	般施工	Ĩ				根入長	設計値以上		\Box	
3 土木工事共通編						偏 心 量 d	D/4以内かつ 100以内		d V	
編						杭径	設計径(公称		y _#	
							径)以上		H	
3 ±	$\frac{2}{\cdot}$	4基礎工	6		深礎工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。		
木工	般施工	礎工				根入長	設計値以上		$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
3土木工事共通編	上						150以内		ď	
編										
									ту	
									H x	
									∪ ∪ ∪ ∪ ⊥	

Щ/	トハント	生生		X U;	規俗値 弗3編 エ	二个工事共进編				里 位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土	2一般施工	4基礎工	7		オープンケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量につい ては各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
不工事	般施工	從工				ケーソンの長さℓ	-50		v k w k l	
3 土木工事共通編						ケーソンの幅 w	-50			
編						ケーソンの高さ h	-100		t t t t	
						ケーソンの壁厚 t	-20		d >	
						偏心量 d	300以内) I v	
									x	
3 ±	2一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソ ン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量につい ては各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
木工事	般施工	從工				ケーソンの長さℓ	-50	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	$\nabla^{\stackrel{W}{\longleftarrow}}$ — $\stackrel{\ell}{\longleftarrow}$	
3 土木工事共通編	1					ケーソンの幅 w	-50			
編						ケーソンの高さ h	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20		d /	
						偏心量d	300以内			
									() / - V	
									x	
3 ±	2一般施工	4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	基 準 高 ▽	±100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
- 工事	施施工	떑 工				根 入 長	設計値以上		$\mathbf{u} = \mathbf{v}\mathbf{x} + \mathbf{y}$	
3 土木工事共通編						偏心量d	300以内			
編 										
									x d	

Щ/	ベルス	3 44.2	ムール	X ()	見俗値 弟3編 ユ	二不工事共理編				単位:mm
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	2	5 石	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇	t₁ t₂ - 	
3 土木工事共通編	般施工	・ブ			積) (コンクリートブロック	法 長 0 < 3 m	-50	所。厚さは上端部及び下端部の2箇所 を測定。		
# 共 通		ロッ			張り)	$\ell \geq 3 \mathrm{m}$	-100	· 仓侧处。		
編		ク積				厚さ(ブロック積 張) t ₁	-50		t_1	
		$\overline{}$				厚さ(裏込) t ₂	-50		$t_1 \ t_2$	
		張)				延 長 L	-200			
		エ							tı	
									t ₂	
3 ±	2	5 石	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基 準 高 ▽	±50	施工延 長 40mにつき 1 箇所、延 長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
木工事	般施工	・ブ				法 長0	-100	所。	L:	
3 土木工事共通編		ロッ				延長 L_1 , L_2	-200		1/27 ²	
編		ク積								
		張								
) T							L 2	
3 ±	2	5 石	3	3	コンクリートブロックエ (天端保護ブロック)	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
- 人工事	般施工	・ブ				幅 w	-100	所。	w ·	
土木工事共通編		ロッ				延 長 L	-200		W 1811	
編		ク積							間詰かご	
		張							w w	
) I								
									連結プロック	

Щ	トルクト		トーク	$\mathbf{X}_{i}\mathbf{U}^{i}$	規格個 第3編 ユ	不工事共理編				単仏:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	2 —	5 石	4		緑化ブロックエ	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40 m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
3 土木工事共通編	般施工	・ブ				法 見 0 > 3 m	-50	所。厚さは上端部及び下端部の2箇所 を測定。	t₁ t₂ ├ ├	
共通		ロッ				$\ell \geq 3 \mathrm{m}$	-100	C (KI)AEo		
編		ク積				厚さ(ブロック) t ₁	-50			
						厚さ(裏込) t ₂	-50		t ₁	
		張)				延 長 L	-200		t_1 t_2 t_2	
		エ								
									$\begin{array}{c} t_1 & x \\ t_2 \end{array}$	
3	2	5	5		石積(張)工	基準高▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40		
土木工事共通編	般施工	石・				1	-50	m以下のものは1施工箇所につき2箇 所。厚さは上端部及び下端部の2箇所		
事共	工	ブロ				法 ℓ < 3 m ℓ ≥ 3 m	-100	を測定。	t ₁ t ₂	
編		ック				■ 厚さ(石積・張) t ₁	-50			
		積(厚さ (裏込) t ₂	-50			
		張				延 長 L	-200			
		エ								
									<i></i>	
									t_2	
									-2	

出	长形官	了埋去	計學	及い	規格値 第3編	土木上事	共連線	Ħ				単位	: mm
								規					
編	章	節	条	枝番	工工種	測定項目	())測定値 X)	(X)測定値 平均 [10)	測定基準測定簡所	摘	要
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下			
3 土	2 血	6 一 血	5	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	_		基準高は延長 40m毎に 1 箇所の割と し、道路中心線および端部で測定。厚中規模とは、1層あたりの施工面積		
土木工事共通編	般施工	般舗装工				厚き	-45	-45	-15	-15	さは各車線 40m毎に1箇所を掘り起こ が2,000㎡以上とする。 して測定。幅は、延長40m毎に1箇所 中規模以上の工事とは、管理図等を		
共通症		エ				幅	-50	-50	_	_	の割に測定。 描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用		
	2	6	5	2	アスファルト舗装工						量が、500 t 以上の場合が該当する。 小規模とは、一層あたりの施工面積が200㎡以上2,000㎡未満とする。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をい い、同一工種の施工が数日連続する場合で、合材の使用量が同一配合で50 t 以上の場合が該当する。		
3 土木			υ		(上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、 厚さは各車線 40m毎に1箇所を掘り起		
土木工事共通編	般施工	般舗装工			粒度調整路盤工	幅	-50	-50	_	_	こして測定。		
光通編		1											

Д	i米.	形官	了理想	內中	义 ()	規格値 第3章	扁 土木	上争	兴 理》	柵								単 似	: mm
絲	ii m	章	節	条	枝番	工 種	1 測定項	Į į	個々の (Z		Ø) <u>z</u>	測定値 P均	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
-	3	2	6	5	3	アスファルト舗装〕			以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下	幅は、延長 40)m毎に	1 箇所(の割とし、	工事規模の考え方		
1 オコヨ 夫近 瀬	- 1 1 7 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一般施工	一般舗装工			(上層路盤工) セメント (石灰 安定処理工	净	さ	-25 -50	-30 -50			厚さは、5000 採取もしくは	n²に11	固の割て	デコアーを	中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。 小規模とは、一層あたりの施工面積が200㎡以上2,000㎡未満とする。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、合材の使用量が同一配合で50 t 以上の場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。		
5. 土才 二		2一般施工	6一般舗装工	5	4	アスファルト舗装3 (加熱アスファル 安定処理工)		さ	-15 -50	-20 -50	-5		幅は、延長 44 厚さは、5000 採取して測定。	m²に1					

Щ	不り	じB	土土		X U',	况恰但	舟 3 補	工小工事	一种地位	71111											平江	• 111111
										規	格値											
編	i	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	()	測定値 X)	Ø 2 (X	测定值 F均 [10)	測	定	基	準	測	定	筃	所	摘	要
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下										
3 土木工事共通編		2	6 一 般	5	5	アスファル (基層工)		厚さ	- 9	-12	-3	-4	幅は、延長 4 厚さは、500 ₁	m²に11			工事規模の考 中規模とは	、1層あ		施工面積		
工事	1	般 施 工	般舗装工					幅	-25	-25		_	採取して測定。				が 2,000㎡以 中規模以上	の工事と	は、管			
光通編			±														描いた上でのいます。 い、基層による 量が、500 t 以 小規模とはが200㎡以上2 小規模は小 施工管理に反 い、合材の 合で、合材の	び表層用 人上の場合 、000㎡未 の00㎡未 ではいで で の施工が	目混合物の 合たという を満模、模型の規数 では、模型	かの総使用 当する。 D施工面積 -る。 人上の工事 き理結を果を D 連続する場		
3	+	2	6	5	6	アスファル	- ト舗装工	厚さ	- 7	- 9	- 2	- 3	幅は、延長 40	Om毎に	1箇所の	の割とし、	- 以上の場合が					
土木工事共通編	- H	一般 施工	一般舗装工			(表層工)		「「「「」	-25	-25			厚さは、5001 採取して測定。		固の割て	コアーを	コアー採取に		-	・トル序版		
事共通		Ī	装工								3 m7° p7						等に損傷を与他の方法によ	える恐れ	このある	る場合は、		
編								平坦性	-	_	直読式 (足付き) (σ)1.79 下)					小規模未満(ては、平坦性きる。	200㎡未》	歯) の]	Ľ事におい		

_	长加尔	了理。	坠华	及い	規格個 弗3編	土木上	手共进	稍								単似	: mm
編	章	節	冬	枝番	工種	測定項目	個々の	規 格の測定値	・値 10個の測定値 の平均	測 定 基 準		測	定	笛	所	摘	要
при	+	니고	*	7人田	工 1里	MAC-R I		小規模 以下	(X ₁₀) 中規模 以上	170 A. A. 4-		183	λ.	Щ	121	110	X
3 ±	2	6	6	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	_	基準高は延長 40m毎に1箇所の し、道路中心線および端部で測定。		工事規模の考 中規模とは、		ったりの) 施丁面積		
3 土木工事共通編	般施工	般舗装工			(1 /	厚さ	_	45	-15	さは各車線 40m毎に1箇所を掘り して測定。幅は、延長40m毎に1	起こ:	が 2,000㎡以_ 小規模とは	上とする	5.			
共通		Ĭ.				幅	_	50		の割に測定。	7	が200㎡以上2,	000m^2	未満とっ	する。		
	2	6	6	2	コンクリート舗装工	厚	-25	-30	-8	幅は、延長 40m毎に1箇所の割と	: L,	厚 個 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	合でと X 10) に 大な いまな いっこる でえる いっこう でえる いっこう ひゃく アース かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	各値 たね 10 で 10	情足しなけ 個の測定 で 高満足しず で 事 さの で 事 さ 値 の 平 し い で で で で で で で で で の で の で の で の で の で		
土土	一般施工	般			(粒度調整路盤工)	「「「「「「」」	20	-50		厚さは、各車線 40m毎に1箇所を 起こして	揺り	他の方法によ	ることが	が出来る	Ó.		
3 土木工事共通編		般舗装工				ΨШ		50									

Щ	术儿	/目/生	生 中	及い	况恰 恒	舟 3 補	工小工事	一大世	1/111										中亚	: mm
編	i i	節	条	枝番	I	種	測定項目		規 測定値 X)	格 値 10個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測	定	基	準	測	定	笛	所	摘	要
3	2	6	6	3	コンクリー	一卜舗装工	厚き	中規模 以上 -25	小規模 以下 -30	中規模 以上	幅は、延長	40m毎に	1 箇所の	の割とし、	工事規模の考	え方				
土木工事共通編		一般舗装工				ト(石灰・瀝	幅	_	-50	-	厚さは、50 採取もしく/				中規模とは が 2,000㎡以上2 が 200㎡以上2 厚さは、個々 以上のおとし 均値(X ₁₀)	上とする と、000㎡ の測定を が規格にいい につい	る。 あたりの 未値が10 を 10個足 て満足	の施工面積 する。 0個に9個 しなければ 測定値の平 しなければ		
3	2	6	6	4		一卜舗装工	厚	-9	-12	– 3	幅は、延長				ならない。た 10個未満の場 用しない。 コア一採取に 等に損傷を与 他の方法によ	合は測 ついて でコア・ こえる恐	定値の ³ 一採取に れのあっ	平均値は適 こより床版 る場合は、		
3 土木工事共通編		般舗装工			(アスファ	アルト中間層)	幅	-	-25		厚さは、50 採取して測が		固の割で	コアーを						

Щ	1//	ハグ 目	3 447.2	3 1 /	X U')	規格恒 男 3 補	工小工事	光远洲				平江	• 1111111
絲	i	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 個々の測定値 (X)	格 値 10個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘	要
- 5)	2	6	6	5	コンクリート舗装工		中規模 小規模以上 以下	中規模 以上	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後	工事規模の考え方		
1	Ŀ	_		O	J	コングリート舗装工 (コンクリート舗装	厚さ	-10	-3.5	厚さは各単線の中心的近で空栓括的後 各車線40m毎に水糸又はレベルにより	上事		
		般施工	般舗装工			版工)	幅	—25	_	1 測線当たり横断方向に3箇所以上測 定、幅は、延長40m毎に1箇所の割で	が 2,000 m以上とする。 小規模とは、一層あたりの施工面積		
コオコ事ま近線	14.5.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1		衣工				平坦性	I	コンクリートの 硬化後3mプロ フィルメータ ーにより機械舗 設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下	測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。	が200㎡以上2,000㎡未満とする。 が200㎡以上2,000㎡未満とする。 厚さは、個々の測定値が10 個に 9 個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10個の測定値の平 均値 (X_{10}) について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。		
							目地段差	<u>+</u>	- 2	隣接する各目地に対して、道路中心線 及び端部で測定。	小規模未満(200㎡未満)の工事においては、平坦性の項目を省略する事がで		
3	3 E	2	6 —	6	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート	基準高▽	±40 ±50	_	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さ	きる。		
5 土才コ 事実 追線	7 []	般施丁	般舗装工			版工)	厚さ	-45	-15	は、各車線 40m毎に1箇所を掘り起こ			
りまして	t 至		五			下層路盤工	幅	-50	_	して測定。幅は、延長40m毎に1箇所 の割に測定。			
			0										
3	3 E	2 —	6 —	6	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート	厚さ	-25 -30	-8	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、 厚さは、各車線40m毎に1箇所を掘り			
/ 口 直	トニュ	般施工	般舗装工			版工) 粒度調整路盤工	幅	- 50	_	起こして測定。			
5. コオコヨナ近線	下上、五十二三冊					心 反响 空 的脸上							

щ	ヘカン	日生	5年	X U	規格値 第	月3編	土木上事	**************************************										+ 114	: mm
編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規	(X ₁₀) 英 中規模	測	定	基	準	測	定	箇	所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	6	8	コンクリート (転圧コンク 版工) セメント (瀝青) 安定ダ	フリート	厚さ	以上 以T -25 -30 -50		幅は、延長 40 厚さは、500r 採取もしくは、	n ² に1個	の割て	コアーを	工事規模の考中規模とはが $2,000$ ㎡以 小規模とはが $2,000$ ㎡以上2厚さは、個々以上のならない。 からない $2,10$ では、	、1 層 上 、000 パ カ の 別 格 に い て り れ に し て り れ に り れ に り れ に り れ い い い い に り に り に り に り に り に り に り に り	。 あたりの	D施工面積 一る。 1個に 9個 しなければ 利定値れば でければ データ数が		
3土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	6	9	コンクリートき (転圧コンク 版工) アスファルト中	フリート	厚を	- 9 -12 -25	-3	幅は、延長 80 厚さは、1,00 採取して測定。	0 m² に 1			コアー採取に 橋面舗装等 等に損傷を与 他の方法によ 小規模未満(ては、平坦性 きる。	でコアー える恐れ ることか 200㎡未	れのある 3出来る 満) の	る場合は、 。 工事におい		
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	6	10	コンクリート (転圧コンク 版工)		厚 さ 幅 平 坦 性	-15 -35	-4.5 - 転圧コンクリートの硬化後、3m プロフィルメーターにより (σ)2.4mm以下。	厚さは、各車 後各車線40m り1測線当た 測定、幅は、3 で測定、平坦 1mの線上、2 隣接する各目: 及び端部で測が	毎に水; り横断力 延長 40n 性は各 壁 全延長と 地に対し	糸又は1 5向に3 m毎に 車線毎に する。	ンベルによ 3 箇所以上 1 箇所の割 に版縁から						

Ц	17	カグド	生之	古中/	X U	况恰 恒	男 3 補	工小工事	*光地/	УШ										中世	.: mm	1
									/		格 値 10個の測定値											
糸	扁	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	()	測定値 X)	の平均 (X ₁₀)	測	定	基	準	測	定	笛	所	摘	要	
									中規模以上	小規模 以下	中規模 以上											
	3七木工事共甬扁	2 一 般	6 一 般	7	1	薄層カラー (下層路盤		基準高▽	±40	±50	_	基準高は、延 し、道路中心	線及び	端部で測	則定。厚さ	工事規模の考 中規模とは	、1層		の施工面積			
-	Ľ I	般施工	般舗装工					厚さ	_	45	-15	は、各車線 40 して測定。幅				が 2,000㎡以 小規模とは			の施工面積			
j	上 甬		Ĩ					幅	_	50	_	の割に測定。	15 C.	Z 101111	少(C I 回//)	が200㎡以上2	, 000 m²	未満とる	する。			
公 市																厚さは、個々 以上の割合で ならないとと 均値(X ₁₀) ならない。た 10個未満の場 用しない。	規格値 もに、 につい だし、	を満足 10個の で満足し 厚さの	しなければ 側定値の平 しなければ データ数が			
L	2	2	6	7	2	薄層カラー	**************************************			1	I	幅は、延長 4	0 年に	1 答示/	の生により	<u> </u>						
-	上上			,		(上層路盤	工)	厚さ	-25	-30	-8	厚さは、各車	線 40m									
-	Ľ F	般施工	般舗装工			粒度調整路	盤工	幅	_	50	_	起こして測定	0									
事主治系	3.七大工事共通扁	I	装工																			

Ē		「刀グド	7 理之	5年/	义 ()*;	規格個 第3編	土木工事	+ 共 理 補				<u> 単仏:mm</u>
j	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規 個々の測定値 (X) 中規模 小規	(X ₁₀)	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
	3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	7	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	厚さ幅	以上 以T -25 -36 -50		幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、厚さは、500㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が2,000㎡以上とする。 小規模とは、一層あたりの施工面積 が200㎡以上2,000㎡未満とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10個の測定値の平 均値 (X_{10}) について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10個未満の場合は測定値の平均値は適 用しない。	
,	3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	7	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ 幅	-15 -20 -50	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、厚さは、500㎡に1個の割でコアーを 採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他 の方法によることが出来る。維持工事 においては平坦性の項目を省略するこ とができる。	
	3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚さ幅	-9 -12 -25	-3	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、厚さは、500㎡に1個の割でコアーを 採取して測定。		

Щ	11人)ノド	3 2 2 2	<u>►</u>	X 0 /	別俗世 カラ畑	エルエヨ					中亚	• 1111111
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規 格 個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	各 値 10個の測定値 の平均 (X ₁₀) 中規模 以上	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	8	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	基準高▽ さ 幅	±40 ±50 -45 -50	— —15	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線40m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が2,000㎡以上とする。 小規模とは、一層あたりの施工面積 が200㎡以上2,000㎡未満とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10個の測定値の平 均値 (X_{10}) について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。		
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	8		ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚を	-25 -30 -50	_8 	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、 厚さは、各車線40m毎に1箇所を掘 り起こして測定。			

	ЦЖ	コク 目	1 上 7	区中	X U',	况恰但	男 3 補	工小工事	光地	11/1111										+ 14	: mm
	編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目		測定値	格 値 10個の測定値 の平均	測	定	基	進	測	定	笛	所	摘	要
	Pilio		A	710			,_	N/C X I		X) 小規模 以下	(X_{10})				·			El .	721	114	^
	3 土	2	6	8	3	ブロック語 (上層路線		厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長 40 厚さは、500 ₁				工事規模の考: 中規模とは、		たりの	施工面積		
	不工事	般施工	般舗装工			セメント安定処理	(石灰)	幅		-50	_	採取もしくは				が 2,000㎡以_ 小規模とは	上とする。	0			
	土木工事共通編		Ĭ			Y.C.O.	E-1-									が200㎡以上2, 厚さは、個々で ならないとと 均値(X ₁₀) l ならない。た 10個未満の場 用しない。	000㎡未 の測定/ 規格値を もに、10 こついて だし、厚	満とす 値が10 満足し) 満足し 満足し 満とし だ	る。 個に9個 いなければ 別定値の平 いなければ ニータ数が		
	3 ‡	2	6	8	4	ブロック部 (加熱ア	舗装工 スファルト	厚さ	-15	-20	-5	幅は、延長 40 厚さは、5001				コアー採取に					
	木工事	般施工	般舗装工			安定処理		幅	_	-50	_	採取して測定。		4.2 11 4	, , ,	橋面舗装等で に損傷を与え					
	土木工事共通編															の方法による、	ことが出	来る。			
	3 土	2	6 —	8	5	ブロック部 (基層工)		厚き	-9	-12	-3	幅は、延長 40 厚さは、500 ₁]					
: : : :	土木工事共通編	般施工	般舗装工			(基層工)		幅	-	-25	_	(早さは、500) 「採取して測定。		の割で	コアーを						

<u>Ш</u> Э	マハショ	生生	5 中 ル	χ . Ο ',	規格個 弟3編 土	二不工事共理編				単似:mm
編	章	節		枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	2	7 地	2		路床安定処理工	基準高 ▽	±50	延長40m毎に1箇所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。	Ģ.	
3 土木工事共通編	一般施工	7地盤改良工				施工厚さ t	-50	厚さは中心線及び端部で測定。		
共通		Î				幅 w	-100		∇ ∇ ∇	
編						延 長 L	-200		t	
									w	
3	2	7	3		置換工	++ >46		施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40	' '	
土木	般	地盤				基準高 ▽	-50	m以下のものは1施工箇所につき2箇		
工事	一般施工	7地盤改良工				置換厚さ t	-50	所。 厚さは中心線及び端部で測定。		
3 土木工事共通編		Ï				幅 w	-100	77 CTS STATES STREET CAMES		
編						延 長 L	-200		G.	
									······	
									∇	
									T T T	
									w	
									1	
									\	
									w	
									' '	
						1				

Щ	→	ハク 日	上土五	三中 ル	X ()')	現俗個 男3編 土	不上爭共理編				<u> </u> 単似:mm
	編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
	3 土木工事共通編	2 一般	7地盤改良工	4	2	表層安定処理工 (サンドマット海上)	基準高 ▽	特記仕様書に 明示	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。	2 3 4	
	工事	一般施工	改良				法 長 0	-500		① / ⑤	
	共通編		エ				天 端 幅 w		W. (L) は施工延長 40mにつき 1 箇所、40m以下のものは 1 施工箇所につき 3 箇所。(L) はセンターライン及び表裏法肩		
							天端延長 L	-500	で行う。	w.(L)	
										2	
F	3	2	7 #h	5		パイルネット工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所。		
	末	般施工	7地盤改良工				厚 さ t	-50	厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。		
	3 土木工事共通編	I	良工				·····································	-100	杭については、当該杭の項目に準ず る。	<u>ф</u> !	
	連編						 延 長 L	-200		w →	
										t t	
r	3 土	2	7 地	6		サンドマット工	加工厚さ t	-50	施工延長 40mにつき 1 箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして		
	木工工	般施工	7地盤改良工				幅 w	-100	測定。		
	3 土木工事共通編	上	艮工				延 長 L	-200		Ģ.	
	·編									T t	

Щ/	トハント	3 / 工 / 3	△ →/	X O ;	現俗他 男ろ柵 J	二个工事共理補				平位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木丁	2一般施工	7 地盤改良工	7		バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工)	位置・間隔w	±100	20本に1箇所。 20本以下は2箇所測定。1箇所に4本 測定。	w	
土木工事共通編	工	良工			(袋詰式サンドドレー ン工)	杭 径 D	設計値以上	ただし、ペーパードレーンの杭径は対 象外とする。		
編			8		締固め改良工	打込長さ h	設計値以上	全本数	w	
					(サンドコンパクショ ンパイル工)	サンドドレーン、袋詰 式サンドドレーン、サ ンドコンパクションパ イルの砂投入量	_	全本数計器管理にかえることができる。		
									※余長は、適用除外	
3 +	2	7 抽	9		固結工	基 準 高 ▽	-50	20本に1箇所。		
末工	般施工	地盤改良			(粉体噴射撹拌工) (高圧噴射撹拌工)	位置・間隔w	D/4以内	20本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		
3 土木工事共通編	工	良工			(スラリー撹拌工) (生石灰パイル工)	杭 径 D	設計値以上		w +	
通編						深 度 0	設計値以上	全本数。	T P P T	
									w w w	

ЩЛ	マハショ	3 上 Z	区中人	X U',	規格値 弗 3 編 ユ	不上事共迧褊				<u> </u> 串位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基準高▽根入長	±100 設計値以上	基準高は施工延長 40mにつき1箇所。 延長 40m以下のものは、1施工箇所に つき2箇所。 (任意仮設は除く)	- <i>rememeni</i>	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ0 配置誤差 d	設計深さ以上 100	全数(任意仮設は除く)	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
3 土木工事共通編	2一般施工	10 仮設工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法 長 Q 延長 L ₁ L ₂	-100 -200	施工延長40mにつき1箇所、延長40 m以下のものは1施工箇所につき2箇 所。 1施工箇所毎	L ₁	
3 土木工事共通編	2一般施工	10 仮設工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ▽ 天 端 幅 w 法 長 ℓ	-50 -100 -100	施工延長 40mにつき 1 箇所。 延長 40m以下のものは 1 施工箇所につ き 2 箇所。 (任意仮設は除く)		

土	Щ/	ハルンド		公十 /	X U ,	が付他 労り棚 ユ	<u>-</u> 小工事デ			-						半江・IIIII
(中部盛士) (中部盛士) (中部盛士) (上野歌) (上野歌) (上野歌) 上上 上上 上上 上上 上上 上上 上上	編	章	節	条			測定	項目	規格値	測 定	基	準	測	定 箇	所	摘要
上	3 土木工事共通編		仮 設	5	5		基準	: 高 ▽	-50	延長40m以下のも つき2箇所。						
基準高マ	3 土			9		地中連続壁工(壁式)	基準	高▽	±50				1	C	1	
基準高マ	木工	般施	設				連壁の:	長さ Q	-50	箇所につき2箇所。					1	
基準高マ	事共	工	エ				変	位	300				IF			
3	編						壁体	長 L	-200					<u> </u>	T	
土															L	
	3 ±			10		地中連続壁工(柱列式)	基準	高▽	±50				L.	Q	J	D: 杭径
	木工車	般施工	設				連壁⊄)長さℓ	-50	箇所につき2箇所。			C]	
	共通						変	位	D/4以内	長 20m以下のもの				D		
	編						壁体	長 L	-200	2 箇所。				<u>п і п </u>		
3 2 10 22 法面吹付工 法 ℓ < 3 m −50 施工延長40mにつき 1 箇所、40m以下 のよのは 1 施工発展につき 2 第所															L	
	3 ±	_	10 仮	22		法面吹付工	法長0000	< 3 m	-50							
末 般 版 設	木工車	脱施一	設				ê e	≧ 3 m	-100				THE REAL PROPERTY.	*		
	共通						1	t < 5 cm	-10				`		Q	
	編						厚さ					-				
t 但し、吹付面に凹凸がある場合の 最小吹付厚は、設計厚の50%以上 とし、平均厚は設計厚以上							t 但し、 最小吹作	付厚は、設計り	享の50%以上						<u>}</u>	
延 長 L — 200 1 施工箇所毎							延	長 L	-200	1 施工箇所毎						

			_ , ~	,,,	WELLINE NA	- 4114 -	ンドエチ		1114									+14.	
編	章	節	条	枝番	エ	種	測	定 項	目	規格値	測	定基	準	測	定	筃	所	摘	要
3 土木工事共通編	3共通施工	1共通関係	1		現場塗装工		/sil	膜	厚	塗膜厚平均 値は、目標 塗膜厚合計		きさは5001 とりの測定 定は5回行	Y数は25 点と い、その平均						

出来形管理基準及び規格値 第3編 土木工事共通編

単位:mm

ЩЛ	\/// F	1 - 1-	<u> </u>	及5%%。10%%。10%%。10%%。10%%。10%%。10%%。10%%。1	上小工事共坦州				平江
編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	3 共	1 共	2	場所打擁壁工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2箇	\mathbf{w}_1	
木工東	3 共通施工	1 共通関係			厚 さ t	-20	所。	/ T	
3 土木工事共通編		尔			裏込厚さ	-50		/ h	
編					幅 w ₁ , w ₂	-30			
					高 h < 3 m さ h h h h h h h h h h h h h	-50		W ₂	
					h h ≥ 3 m	-100		w ₁	
					延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
								+	
								w, w,	
								2	
								h h	
								<u>t</u> / /t	
								I TII t TI	
	0	-	0					r w ₂ 1 r w ₂ 1	
3 土木工事共通編	3 共通施工	1 共通関係	3	プレキャスト擁壁工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長40 m以下のものは1施工箇所につき2箇		
工事	施工	関係					所。 1 施工箇所毎	∇ ∇	
共通症					延 長 L	-200) Ď	
// /////									

編	ЩЛ	\/// E	1 - 1 - 2	3 1 /	<u>, </u>	が付担 カョ州 _	上 小 工 尹 夬 坦 柵				平位·IIII
では、	編			条			測定項目	規格値		測 定 箇 所	摘要
Path ≥ 3 m	3 土	3 共	1 共	4		井桁ブロック工	基 準 高 ▽	±50	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工策所につき2箇		
では、	木工	通施工	通関				法 高さh<3m	-50		Lı	
	井通	上	湉				心 高さ h ≧ 3 m	-100			
	編						厚さt ₁ , t ₂ , t ₃	-50			
3 ± 1 ± 1							延 長 L ₁ , L ₂	-200	1 施工箇所毎	(
$\frac{3}{2}$										L ₂	
土 共通										t ₂ t ₁ t ₂ t ₂ t ₃ m	
世ん孔方向 θ ±2.5度	3 土	3 共2	1 共	5		アンカー工	削孔深さ 0	設計値以上	全数(任意仮設は除く)		
世ん孔方向 θ ±2.5度	木工車	連施工	进 関 区				配置誤差 d	100		d	
$\begin{array}{c c} & & & & \\ & & \\ & \\ d = \sqrt{x^2 + y^2} \end{array}$	共通		NV				せん孔方向 θ	±2.5度			
$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	編									H	
$d = \sqrt{x^2 + y^2}$										х	
										$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	

出来	代形官	了埋去	5年/	文い	現格値 第3編 土	木上事共連編				単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通施工	1 共通関係	6		側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 ▽ 延 長 L	±30 -200	施工延長40mにつき1箇所、施工延長 40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。 1箇所/1施工箇所		
						是 	-200		100	
3 土	3 共	1 共	7		現場打水路工	基 準 高 ▽	±30	施工延長40mにつき1箇所、施工延長 40m以下のものは1施工箇所につき2	t_1 w t_2	
小工事	3 共通施工	共通関係				厚さ tı, t ₂	-20	箇所。		
3 土木工事共通編						幅 w	-30			
編						高 さ h ₁ , h ₂	-30		h ₁ h ₂	
	0		0			延 長 L	-200	1 施工箇所毎		
3 土	3 共通	共通	8		集水桝工	基準高▽	±30	1 箇所毎 ※は、現場打部分のある場合	ts	
二事	3 共通施工	共通関係				※厚さ tı~ts ※幅 wı, wo	-20 -30		w ₁	
3 土木工事共通編						※幅 w ₁ , w ₂ ※高さ h ₁ , h ₂	-30 -30		t ₄	
7,10						ЖIПС II 1, II 2	-30		h ₁ h ₂ t ₅	
3 土	3 共通施工	1 共通	9		暗渠工	基準高▽	±30	施工延長 40mにつき 1 箇所。 延長 40m以下のものは 1 施工につき 2	W_1	
一工事	施工	共通関係				幅 w ₁ , w ₂ 深 さ h	-50 -30	箇所。 (なお、製品使用の場合は、製品寸法		
3土木工事共通編						延 長 L	-200	は、規格証明書等による。)	h	
philip								1 施工箇所毎	W ₂	

						小工事共远帰				平江 · IIIII
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通施工	1 共通関係	10		刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)	$\begin{array}{l} \pm \ 2 \cdot \dots \cdot \\ h \le 0.5 \\ \pm \ 3 \cdot \dots \cdot \\ 0.5 < h \le 1.0 \\ \pm \ 4 \cdot \dots \cdot \\ 1.0 < h \le 2.0 \end{array}$	図面の寸法表示箇所で測定。	h	
						外周長L(m)	± (10+L/10)			
3 土	3 共	1 共	11		階段工	幅 w	-30	1回/1施工箇所	L	
木工東	3 共通施工	共通関係				高 さ h	-30			
3 土木工事共通編		IK.				段 数	±0段		h	
		0							w	
土土木	3 共通施工	2河川関係	1		巨石張り、巨石積み	基準高▽	±500	施工延長40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2箇		
工事	施工	関係				法 長 0	-200	所。		
3土木工事共通編		IX				延 長 L	-200			

ЩЛ	トハノト	3 × X Z	☆ 十ル	L U /	兄俗他 男ろ柵 丄	-/ _						
編	章	節		枝番			測定項目	規格値		崔 基	準	測 定 箇 所 摘 要
3 ±	3 共通施工	2 河川関係	2		かごマット	治	長 ・ℓ	-100	施工延長40mに m以下のものは1			
木工車	通施工	川関区				J	厚 さ t	−0.2 t	所。	, ж. <u> Д</u>	C - E	, 99998 T
3 土木工事共通編	_	N				;	延 長 L	-200				ı,
編												
												BOHIO /
3 ±	3 共2	2河	3		じゃかご	法長ℓ	$\ell < 3 \mathrm{m}$	-50	施工延長40mに m以下のものは1			
不工事	3 共通施工	2河川関係				ê e	ℓ ≧ 3 m	-100	所。			
3 土木工事共通編		N.					厚 さ t	-50				1 88888
編												T T
												BOSE STATE OF THE PARTY OF THE
3	3	2	4		ふとんかご、かご枠		高 さ h	-100	施工延長40mに			
3 土木工事共通編	3 共通施工	2河川関係					€ 長 L ₁ , L ₂	-200	m以下のものは 1 所。	施工箇所は	こつき2箇	L ₁
事共	Ĩ	係						200				
通編												
												h L
												L ₂

Щ	1人ハン [3 22.4	<u> →</u> /	X ()	祝俗旭 男3柵 ユ	_/\\-	ĿŢ,	八 (UII)	vmi				中心:mm
編		節	条	枝番			測	官 項	目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通施工	2河川関係	5		根固めブロック工	基準高▽	層	ł	積		施工延長40mにつき1箇所、延長40 m以下のものは1施工箇所につき2箇 所。	L ₁	
- 共通編		VIV.				∇	刮		積	± t/2		W ₂	
APIIII							厚	さ	t	-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。		
						幅 W ₁	層	ł	積	-20			
						\mathbf{w}_2	刮		積	- t/2			
						幅 W ₁	雇	1	積	-20	1 施工箇所毎	, <u> </u>	
						\mathbf{w}_2	刮	4	積	- t/2			
3 土木工事共通編	3 共通施工	2河川関係	6		沈床工		基	単 高	∇	±150	1 組毎	V	
工事共	施工	関係					幅		w	±300		₩ W	
通編							延	長	L	-200			
3 ±	3 共	2 河	7		捨石工		基	単 高	∇	-100	施工延長40mにつき1箇所、延長 40 m以下のものは1施工箇所につき2箇		
木工車	3 共通施工	河川関係					幅		W	-100	所。	Z	
3 土木工事共通編		NV					延	長	L	-200		200	
編												\(\frac{1}{2000}\)	
3 土木工事共通編	3 共通施工	2河川関係	8		護岸付属物工	ţ	苗		w	-30	各格子間の中央部 1 箇所を測定。	w w	
上事共通	工	係					高	さ	h	-30		<u> </u>	
編												h	
												292	

ЩЛ	ヘハノ F		△ → /	X O ,	祝俗恒 男ろ柵 コ	L/ \-	느 ᆉ .	共理補				—————————————————————————————————————
編	章	節	条	枝番			測	定項目	規	格値	測 定 基 準	測 定 箇 所 摘 要
3 ±	3 共	3 海	1	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)				上限	下限	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。	
木工事	3 共通施工	海岸関係			(A C DADINAH)		聯	200ps	+200	- 800	横断方向は、5m毎。	
3土木工事共通編		沭				#	電気船	500ps	+200	-1000	して同意の加える。たたし、自然に直	
編						基準	741-	1000ps	+200	-1200	の平均値の設計基準高以下であるこ と。	\
						高	デ	250ps	+200	- 800		/ /
						∇	イーゼル	420ps 600ps	+200	-1000		
							船	1350ps	+200	-1200		
								幅	_	200		
							延	長	_	200		
3土木工事共通編	3共通施工	3海岸関係	1	2	浚渫船運転工 (グラブ船)		基	準 高 ▽	上限	+200	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。	V
工事	施工	関係						幅	_	200	横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応	\ ▼ /
共通							延	長	_	200	じ中間点も加える。ただし、各測定値 の平均値の設計基準高以下であるこ	
編											の平均値の設計基準向以下であること。	
木	3	4	1		プレキャストカルバー						施工延長40mにつき1箇所、施工延長	
木工事共通編	3 共通施工	道路関係			トエ (プレキャストボック		基	準高▽	=	±30	40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。	<u>L</u>
开 通 絙	施工	係			ス工)		※幅	W	-	-50	※印は、現場打部分のある場合。	
лунн					(プレキャストパイプエ)		※高	さ h	±	±30		
							延	長 L	_	200	1 施工箇所毎	
												h w I h
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係	2		落石防護柵工		高	さ h	±	±30	施工延長40mにつき1箇所、施工延長 40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。	L_
事出		係					延	長 L	_	-200	1施工箇所毎	Th .
通編												
												terminal Dr. s. P. p. et al. p.

<u>ш</u> л	、 /// 口	* 11.21	2 1 12	\ \ \ / ;	兄俗心 弁り柵 丄	. 小工				平位, IIIII
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通施工	4 道路関係	3		検査路製作工	部 材 部材長ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \cdots \\ \ell \le 10 \\ \pm \ 4 \cdots \cdots \\ \ell > 10 \end{array}$	図面の寸法表示箇所で測定。		
3 土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	4		鋼製伸縮継手製作工	部 材 部材長w (m) 相合せる伸縮装置 との高さの差 δ ₁ (mm) フィンガーの食い 違い δ ₂ (mm)	0~+30 設計値 ±4 ±2	製品全数を測定。 両端及び中央部付近を測定。	W δ ₁ D δ ₂ T C C C C C C C C C	
3 土木工事共通編	3 共通施工	4 道路関係	5		落橋防止装置製作工	部 材 部材長0 (m)	± 3 ······ ℓ ≤10 ± 4 ····· ℓ >10	図面の寸法表示箇所で測定。		
3 土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	6		鋼製排水管製作工	部 材 部材長ℓ (m)	± 3 ····· ℓ ≤10 ± 4 ····· ℓ >10	図面の寸法表示箇所で測定。		

	1/15/		-1.4	<u>~</u> → //	~ 0 /		<u> -</u> / *-	工事共坦州				于江、Ш
弟	1112	章	節	条	枝番			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
•		3 共通施工	4道路関係	7		プレビーム用桁製作工		フ ラ ン ジ 幅 w (m) 腹板高 h (m)	$\begin{array}{l} \pm \ 2 \cdots w \leq 0.5 \\ \pm \ 3 \cdots \\ 0.5 < w \leq 1.0 \\ \pm \ 4 \cdots \\ 1.0 < w \leq 2.0 \\ \pm \ (3 + w / \\ 2) \cdots 2.0 < w \end{array}$	各支点及び各支間中央付近を測定。	h I型鋼げた	
							部材	フランジの直角度 δ(mm)	w/200	各支点及び各支間中央付近を測定。	*/2 -1 8	
								部材長ℓ (m)	$\begin{array}{l} \pm \ 3 \cdots \ell \ \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ell \ > 10 \end{array}$	原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。	£	
							仮組立時	主げたのそり	$-5 \sim +5$ L ≤20 $-5 \sim +10$ 20 < L ≤40	各主げたについて10〜12m間隔を測定。	L S	
:	3七大工事共通扁	3共通施工	4道路関係	∞		橋梁用防護柵製作工	部材	部 材 長	$\pm 3 \cdots 0 \le 10$ $\pm 4 \cdots 0 \ge 10$ $\pm 4 \cdots 0 \ge 10$	図面の寸法表示箇所で測定。		

編	章	節	- 	枝番	T. T.	種			定項目	規格値	測	定	基	準	測	定	筃	所	摘要
	3 共通施工	4道路関係	9		鋳造費 (金属支承工)				孔の直径差	+ 2 - 0	製品全数を測								
3 土木工事共通編	施工	関係					上下部構造		センターボ にした孔位										
編							物との接	中心距離	≦1000mm	± 1									
							上下部構造物との接合用ボルト孔	距 離	センターボ にした孔位										
							扎		>1000mm	±1.5									
							アン	孔の直径	≦100mm	+ 3 - 1									
							カー	径	>100mm	+ 4 - 2									
							ボルト孔	:	孔の中心距離	JIS B 0403-95 CT13									
							センター	ボ	ス の 直 径	+ 0 - 1									
							ーボス	ボ	スの高さ	+ 1 - 0									

14/	\/ \/	1 - 1-0		<u> </u>	がは カュ州 _	<u> </u>	T- 7-	大				平江
編	章	節	条	枝番	工 種		測	定項目	規 格 値	測 定 基 準	別 定 箇 所	摘要
3 土	3 共	4 道	9	1	鋳造費 (金属支承工)		の橋軸 さ寸法			製品全数を測定。		
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係			(並属又承工)		G 1142	ℓ ≦300mm	CT13 ± 2	※1)片面削り加工も含む。		
事共	I.	係				全移動		€ ≡000mm		※2)ただし、ソールプレート接触面		
通編						量 Q		ℓ >300mm	±ℓ /100	の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に 対してはCT13を適用する		
							上、	下面加工仕上げ	± 3			
						- 全日		H≦300mm	± 3			
						組立絶対高さH	コンクリート構造用	H>300mm	(H/200+3)小数 点以下切り捨 て			
								放し長さ寸法 ※1)、※2)	JIS B 0403-95 CT14			
						普		放し肉厚寸法	JIS B 0403-95			
						普通寸法		% 1)	CT15 JIS B 0405-91			
						法	Ë	川り加工り伝	粗級			
							7	ガス切断寸法	JIS B 0417-79 B級			
3 土	3 共	4 道	9	2	鋳造費 (大型ゴム支承工)	幅	v	v, L, D≦500	0~+5	製品全数を測定。 平面度:1個のゴム支承の厚さ(t)		
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係			(八里一八八茶工)	w 長さL÷	50	00≤w, L, D ≦1500mm	0~+1%	の最大相対誤差	前強材	
編						直 径 D	15	500 <w, d<="" l,="" td=""><td>0~+15</td><td>t Ţ</td><td>L</td><td></td></w,>	0~+15	t Ţ	L	
								t ≦20mm	±0.5	1 ,		
						厚 t		20< t ≦160	±2.5%			
								160< t	± 4		D	
							平	面 度	1		D	

山ブ	ベルグ目	3 /生2	古中人	X U')	規格値 弟3編 ユ	_/ \	<u> </u>				単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木	3 共通施工	4道路関係	10		アンカーフレーム製作工		上面水平度 δ ₁ (mm)	b /500	軸心上全数測定。	b b	
土木工事共通編	施工	関係				仮組立	鉛 直 度 δ_2 (mm)	h/500		- ± δ,	
ガ通編						型時	高さ h (mm)	± 5		$h \int \frac{1}{M} \int \frac{1}{M} \delta_2$	
3 土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	11		仮設材製作工	部材	部材長ℓ (m)	$\pm 3 \cdots$ $\ell \le 10$ $\pm 4 \cdots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所で測定。		
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係	12		床版・横組工		基 準 高 ▽	±20	基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3箇所、厚		
事共通	工	係					幅 w	0~+30	さは型枠設置時におおむね10 ㎡に1 箇所測定。		
編							厚 さ t	$-10\sim +20$	(床版の厚さは、型枠検査をもって代 える。)		
							鉄筋のかぶり	設計値以上	1 径間当たり 3 断面(両端及び中央) 測定。 1 断面の測定箇所は断面変化毎		
							鉄筋の有効高さ	±10	1 箇所とする。		
							鉄 筋 間 隔	±20	1 径間当たり 3 箇所(両端及び中央) 測定。		
							上記、鉄筋の 有効高さがマ イナスの場合	±10	1 箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。		
3 土木	3 共通施工	4道路関係	13	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	ŧ	居付け高さ	舗装面に対し 0~-2	両端及び中央部付近を測定。		
3 土木工事共通編	施工	関係				ā	長面の凹凸	3		演者さ	
編						f.	上上げ高さ	舗装面に対し 0~-2		編装面 ////////////////////////////////////	

щл	\/// F	1 -1-4	3 1 2	~ 0 /	九份但 另 3 栅 工	小工事共地柵				牛15.11111
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工	3 共通施工	4道路関係	13	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョ イント)	据付け高さ 事線方向各点誤差 の相対差	± 3	高さについては車道端部、中央部各3 点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部		
土木工事共通編	工	係				表面の凹凸	3	の計3点。		
מוזיקו/						歯型板面の歯咬み合い 部の高低差	2		B B	
						縦方向間隔	± 2		<u></u>	
						横方向間隔	± 5		編装面	
						仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2		110 de 110 - 27 d 3 4 4 5	
3 生	3 共	4 道	14		地覆工	地覆の幅 w ₁	$-10\sim +20$	1 径間当たり両端と中央部の 3 箇所測 定。		
小工事	3 共通施工	4道路関係				地覆の高さ h	$-10\sim +20$		W1 W2	
3 土木工事共通編		,,,				有効幅員 w ₂	0~+30		h	
形冊										
3 土	3 共	4 道	15		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅	-5~+10	1径間当たり両端と中央部の3箇所測 定。	W	
木工東	3 共通施工	4道路関係				高さ	$-20\sim +30$	AL0	Ħ □ ¬f	
3土木工事共通編		TAR							h	
編										
3 ±	3 共	4 道	16		検査路工	幅	± 3	1ブロックを抽出して測定。		
3土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係				高さ	± 4			
共通		νι.								
編										
								1		

14/	1 1		L 7 /2	,,,			規格値			+\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値 コンクリート橋	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	17	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ注1) 可動支承の移動可能量 注2) 支承中心間隔(橋軸直角方向) 「下沓の水平度」 「動支承のが動力を強い。」 「「「水平度」 「「動を取り、「大平度」 「「動を取り、「大平度」 「「動を取り、「大平度」 「「動を取り、「大平の」」 「「動きない」 「「大中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「	*** (B-2) 1 /100 5 温度変化に伴う移動	支承全数を測定。 B:支承中心間隔(m) 支承の平面寸法が 300mm以下の場合は、水平面の高低差を1mm以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間(La, Lb)を計測し、支承据付時のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。詳細は、道路橋支承便覧参照。		
3 土木工事共通編	3 共通施工	4 道路関係	17	2	支承工(ゴム支承)	移動量 注3) 据付け高さ注1) 可動支承の移動可能量 注2) 支承中心周 (橋軸直角方向) 表示の水平度 橋軸直角方向 可動支承の橋軸方向の承線上の相対誤差 可動支承の移動すれに同一支承線上の相対誤差		支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が 300mm以下の場合は、水平面の高低差を1mm以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。詳細は、道路橋支承便覧参照。		

1113	ミハショ	3 上土 Z	区中	X U	規格値 弗3編 コ	二不上爭共坦編				<u> </u> 単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係	18		架設工 (鋼橋) (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設)	全長・支間長	± (20+L/5)	各けた毎に全数測定。 L:主げた・主構の支間長(m)	全長全長	
通編					(ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	通り	± (10+L/5)	L:主げた・主構の支間長(m)	まりた た	
						そり	± (25+L/2)	主げた、主構を全数測定。 L:主げた・主構の支間長(m)		
						※主げた、主構の 中心間距離 B(m)	$\pm 4 \cdot \cdots $ $B \le 2$ $\pm (3+B/2) \cdot \cdots $ $B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主げたの橋端に おける出入差 δ (mm)	設計値 ±10	どちらか一方の主げた(主構)端を測 定。	δ 	
						※主げた、主構の 鉛直度 δ (mm)	3+h/1, 000	各主げたの両端部を測定。 h:主げた・主構の高さ(mm)	δ 1 h	
						※現場継手部 のすき間 δ_1,δ_2 (mm)	設計値 ±5	主げた、主構の全継手数の $1/2$ を 測定。 δ 1, δ 2のうち大きいもの 設計値が 5 mm以下の場合は、マイナス を認めない。	δ 1 	
								※は仮組立検査を実施しない工事に適 用。		

※規格値のL,Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ 」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

ЩЛ	V ///	1.1.0		~ ·	死行性 労り柵 ユ	. 小工事共坦州				半江・Ⅲ
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 土木工事共通編	3 共通	4 道路	19	1	プレテンション桁製作工 (購入工)	桁長 L (m)	± L/1000	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。		
小工事	共通施工	道路関係			(けた橋)	断面の外形寸法	± 5	なお、JIS 製品の場合は、JIS 認定工 場の成績表にかえることができる。		
共通短					(1) / = [][4]	橋 桁 の そ り δ ₁	± 8	JIS製品以外はJIS製品に準ずる。		
附冊						横方向の曲がり $\delta_{\ 2}$	±10		L	
									δ:	
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	19	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁長 L (m)	$\begin{array}{c} \pm 10 \cdots \\ \text{L} \leq 10 \text{m} \\ \pm \text{L} / 1000 \cdots \\ \text{L} > 10 \text{m} \end{array}$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS 製品の場合は、JIS 認定工 場の成績表にかえることができる。		
共通編						断面の外形寸法	± 5	JIS製品以外はJIS製品に準ずる。		
						橋 桁 の そ り δ,	± 8			
						横方向の曲がり δ ₂	±10		L	
									δ_1	
3 ±	3 共通施工	4 道路関係	20		ポストテンション桁 製作工	幅 (上) w ₁	+10 -5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッ		
- 不工事	施工	^岭 関係				幅 (下) w ₂	± 5	シング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央		
3土木工事共通編						高 さ h	+10 -5	部の3箇所とする。 ℓ:支間長 (m)	W1	
/p ttu						桁 長0 支間長	<pre> ℓ <15···±10 ℓ ≥15···± (ℓ −5)</pre>		h	
						横方向最大タワミ	0.80		W2	

ш	/15/1		7.7.4	± → /	<u> </u>	現俗他 男ろ柵 エ	个工事共理補				中17.:mm
綿	Ħ :	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3	35 111	3 共2	4 道	21		プレキャストセグメント 製作工(購入工)	桁 長 ℓ		桁全数について測定。桁断面寸法測定 箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。		
オコュ		共通施工	道路関係				断面の外形寸法 (mm)	l			
3 土才工事 尹通編		<u></u>	K.								
L									Los A W. A		
5.土木工事共通編		3 共通施工	4道路関係	22		プレキャストセグメント 主桁組立工	桁 長0 支間長	<pre>& <15···±10 ℓ ≥15···± (ℓ −5) カンつ −30mm以内</pre>	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。		
編	Ħ						横方向最大タワミ	0.8 ⋅ ℓ	ℓ : 支間長(m)		
5.土木工事共通編	3	3 共通施工	4道路関係	23		PCホロースラブ製作工	基 準 高	±20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点		
コーリー		施工	関係				幅 w ₁ , w ₂	$-5 \sim +30$	付近)で1箇所当たり両端と中央部の 3点、幅及び厚さは1径間当たり両端		
担 組	É						厚 さ t	-10~+20	と中央部の3箇所。	w1	
称	Ħ							ℓ <15…±10 ℓ ≥15…± (ℓ − 5) カン −30mm以内	※鉄筋の出来形管理基準については、 第3編3-4-12床版・横組工に準ず る。 &:桁長(m)	t O O O O	

Щ//	V /I/	1 -1-0		\ \ \ \ \ \ \	現俗他 男ろ柵 エ	小工争共理補				中心:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
3 ±	3 共2	4 道	24		PC箱桁製作工	基 準 高	±20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点		
3 土木工事共通編	共通施工	4道路関係				幅 (上) w ₁	$-5\sim +30$	付近) で1箇所当たり両端と中央部の 3点、幅及び高さは1径間当たり両端		
共通	Т-	N.				幅 (下) w ₂	$-5\sim +30$	る点、幅及い向さは1 住间 ヨ たり 岡端 と中央部の 3 箇所。	w1	
編						内 空 幅 w ₃	± 5	※鉄筋の出来形管理基準については、		
						高 さ h_1	+10 -5	第3編3-4-12床版・横組工に準ず る。	h ₁ w ₃	
						内空高さ h ₂	+10 -5	ℓ : 桁長 (m)	w2	
						桁 長0 支間長	ℓ <15···±10 ℓ ≥15···±(ℓ −5) かつ −30mm以内			
3 ±	3 共	4 道	25		PC押出し箱桁製作工	幅 (上) w ₁	$-5\sim +30$	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央		
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係				幅 (下) w ₂	$-5 \sim +30$	部の3箇所とする。		
共通	Т-	N.				内 空 幅 W ₃	± 5	※鉄筋の出来形管理基準については、	W1	
編						高 さ h ₁	+10 -5	第3編3-4-12床版・横組工に準ず る。		
						内空高さ h_2	+10 -5	ℓ : 桁長 (m)	l ₁₂ W ₃	
						桁 長ℓ 支間長	ℓ <15···±10 ℓ ≥15···±(ℓ −5) カン −30mm以内		W2	
3 土	3共通施工	4道路関係	26		架設工(コンクリート橋)	全 長・支 間	_	各桁毎に全数測定。		
3 土木工事共通編	施工	関係			(クレーン架設) (架設桁架設)	桁の中心間距離	_	一連毎の両端及び支間中央について各 上下間を測定。		
共通編					架設工支保工	そり	_	主桁を全数測定。		
נחודקי					(固定) (移動)					
					架設桁架設 (片持架設) (押出し架設)					

出米	4 州 2 信	了埋去	去华/	及い	現格値 第3編	土不上事	+ 共理	稐					-	里似	: mm
								規	格値						
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	()	測定値 X)	の (の測定値 平均 X ₁₀)	測定基準	定箇	所	摘	要
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下					
3 ±	3 共2	4道	27	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	_	_	基準高は延長40m毎に1箇所の割と 工事規模の し、道路中心線及び端部で測定。 中規模 &)考え方 : は、1層あたりの抗	 也工面積		
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係				厚さ	-45	-45	-15	-15		以上とする。 【上の工事とは、管理	里図等を		
共通						幅	-50	-50	_	_	福は、延長40m毎に1箇所の割に測 描いた上 [*]	での管理が可能な」 3よび表層用混合物の	匚事をい		
											量が、500 小規模と が200㎡以 小規模 より規模に 施工管理に い、同一 合で、合 以上の場合	は以信が該当 は、一層あたりのが 上2,000㎡未満とする 上2,000㎡未満とする 上4小さいものの、管理 には、中観以 は小さいものの、管理 には、中観以 には、中観以 には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、中間は には、 には、中間は には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	する。 施工面積 3。 上の工事 理結果を 工事を で売する場		
3 土	3 共通施工	4道路関係	27	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	-10	届は、延長40m毎に1箇所の割と し、厚さは、各車線40m毎に1箇所				
3 土木工事共通編	施工	関係			粒度調整路盤工	幅	-50	-50	_	_	を掘り起こして測定。				
共通編															
,,,,,															
						I	1						1		
															j

	3米	: TTシ E	1 2 2 2	至 华	及い;	規格個 弗3編	土不工事	+ -	洲					単似	: mm
								個々の		格 値 10個 <i>0</i>)測定値				
á	編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	中規模		()	平均 X ₁₀) 小規模	測 定 基 準	東 箇 所	摘	要
								以上	以下	以上	以下				
	3 土木	3 共通	4道路	27	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	厚さ	-25	-30	- 8	-10)考え方 : は、1層あたりの施工面積		
=	土木工事共通編	共通施工	道路関係			セメント (石灰) 安定処理工	幅	-50	-50	_	_		以上とする。 上の工事とは、管理図等を		
j	兵 通編											·- ·	での管理が可能な工事をい 3よび表層用混合物の総使用		
												· ·	t 以上の場合が該当する。 : は、一層あたりの施工面積		
													上2,000㎡未満とする。		
	3 ±	3 共	4 道	27	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト	厚き	-15	-20	- 5	- 7	、厚さは、500㎡に1個の割でコア より規模は	工事とは、中規模以上の工事 は小さいものの、管理結果を		
-	3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係			安定処理工)	幅	-50	-50	_	_	を採取して側定。 い、同一工	工反映できる規模の工事をい 工種の施工が数日連続する場		
7	共通編												†の使用量が同一配合で50 t が該当する。		
	7110											コアー採取			
	3 土	3 共	4 道	27	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚さ	- 9	-12	- 3	-4	は、延長40m毎に1箇所の割と に損傷を与	ぎでコアー採取により床版等 みえる恐れのある場合は、他		
1	木工事	共通施工	道路関係			(金)恒上/	幅	- 25	-25	_	_	を採取して測定。 の方法によ	ることが出来る。		
1	土木工事共通編		NV									ては、平坦	「(200㎡未満) の工事におい 1性の項目を省略する事がで		
Ä	湘											きる。			
-	3	3	4 省	27	6	半たわみ性舗装工	厚さ	- 7	- 9	- 2	- 3	は、延長40m毎に1箇所の割と			
-	3 土木工事共通編	共通施工	道路関係			(表層工)	幅	- 25	-25	_	_	、厚さは、500 ㎡毎に1個の割でコ 一を採取して測定。			
-	事共	T	係							3 m7° μ7					
Á	編						平坦性	-	_	直読式 (足付き					
										(σ)1.7 下					

出来形管理基準及び規格値 第3編 土木工事共通編

(X)		
編 章 節 条 枝番 工 種 測定項目 測定項目 (X) 1000の円がし (X10) の平均 (X10) 収入 1000の円がし (X10) 1		
3 3 4 28 1 排水性舗装工 以上 以下 以上 以下 基準高は延長40m毎に1箇所の割と 工事規模の考え方	衝 所	摘要
3 3 4 4 i i i i i i i i i i i i i i i i		
工 施 関	こりの施工面積	
	は、管理図等を	
通	「能な工事をい 昆合物の総使用	
最が、500 t 以上の場合	が該当する。 こりの施工面積	
	規模以上の工事	
施工管理に反映できる い、同一工種の施工が	数日連続する場	
1	刊一配合で50 t	
土 共 道		
3	ある場合は、他	
きる。		
3 3 4 28 3 排水性舗装工 (上層路盤工) 厚 さ -25 -30 -8 -10 幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、厚さは、500㎡に1個の割でコアーを 厚さは、500㎡に1個の割でコアーを 採取もしくは掘り起こして測定。 事 工 原 ・ -50 -50 - - 採取もしくは掘り起こして測定。		
工		
3		

Д	iX.	丌シ Έ	手生	松 毕	及い	規格値 第3編	土木上	P兴进	畑			—————————————————————————————————————	<u> </u>	mm
									規	格値				
編	i i	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の (∑	ζ)	(X)測定値 平均 【10)	測定基準測定箇所	商 要	면
								中規模以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下			
3 ±	1	3 共	4 道	28	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト	厚き	-15	-20	- 5	- 7	幅は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、		
木 工 車		共通施工	4道路関係			安定処理工)	幅	-50	-50	_	_	採取して測定。		
土木工事共通編	- 112 ATTE 100 H	-1	N									描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が、500 t 以上の場合が該当する。 小規模とは、一層あたりの施工面積が200㎡以上2,000㎡未満とする。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場		
3	1 :	3 共	4 道	28	5	排水性舗装工 (基層工)	厚さ	- 9	-12	- 3	-4	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、 厚さは、500㎡に1個の割でコアーを		
木工車		3 共通施工	4道路関係			(左眉上)	幅	-25	-25	_	_	採取して測定。 コアー採取について		
土木工事共通編			冰									橋面舗装等でコアー採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、他 の方法によることが出来る。		
												小規模未満(200㎡未満)の工事においては、平坦性の項目を省略する事ができる。		
3	111	3 共通施工	4道路関係	28	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ	- 7	- 9	-2	- 3	幅は、延長 40m毎に1箇所の割とし、 厚さは、500㎡毎に1個の割でコアー		
土木工事共通編	- 11- 15-min	- 施工	^四 関係				幅	-25	-25	_	_	を採取して測定。		
							平坦性	-	_	3 mプ ロフ (σ)2.4n 直読式 (足付き) (σ)1.78	m以下			

Ц	i X	ハシ.日	14年2	玄华,	及 U`	·規格値	第3編	土木上	10000000000000000000000000000000000000	附田												半江	: mm
編	į	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の ()	測定値	の)測定値 平均 X ₁₀)	測	定	基	準		測	定	笛	所	摘	要
3		3	4	29	1	グースアス	ファルト		中規模以上	小規模 以下	中規模以上	以下	幅は、延長 40	m 年17	1 答示/	の割し1		工事規模の	老う七				
土木工事		共通施工	道路関係	20	-	舗装工 (加熱アス	スファルト	厚き幅	-15 -50	-20 -50	- 5 -	- 7 -	福は、 厚さは、500 r 採取して測定。	n ² に11			を	中規模と が 2,000㎡リ	は、1層 以上とす	る。	の施工面積		
土木工事共通編	de militari					安定処理												描いた上でい、 まない た上で い、 基 が、 500 t 小規模と が 200 ㎡以上 小規模工に より 既 で に ここ た で、 合で、 合で、	の管理 は 以上 は、 は、 の の は い で た り に た の り に い た 、 し 、 の り は 、 り た 、 り た う に た り 、 も も き と う に り 、 も き と う と う と う と う と う と う と り る り る と う と う と う と う と う と う と う と う と う と	が用合き、大中のるがが同様がある。 一般がある。 が用めた満規の規数同様、模目では、模目では、模目では、	物の総合 地のが総合。 の施工面積 する。 以上理結本をい 連続する場		
3 土 木		3 共通施工	4道路関係	29	2	グースアス 舗装工 (基層工)	スファルト	厚 さ 幅	-9 -25	-12 -25	-3 -	-4 _	幅は、延長 40 厚さは、500 r 採取して測定。	$n^2 l \subset 1$			/ \	以上の場合だ コアー採取し		- 0			
3 土木工事共通編	-		係			(出)			-25	-25			INAK O CIKINE					橋面舗装等 に損傷を与 の方法によ	でコアー える恐れ	採取に。 いある	場合は、他		
																		小規模未満 ては、平坦(きる。					
3 土木工事共通編		3 共通施工	4道路関係	29		グースアス 舗装工 (表層工)	スファルト	厚さ	- 7	- 9	- 2 -	- 3	幅は、延長 40 厚さは、500 r を採取して測	rå毎に									
事	. 7	施 工	関 係			(水/官工/		幅	-25	-25		<u> </u>	で 木以 し く例)	L .0									
光道編								平坦性	-	_	(σ)2.4 直読式 (足付き												

Щ/	ヘルクド	3 44.2		X U'	祝俗但 牙	うろが開	工小工事	光坦州							平1/1	• 1111111
								規	格値							
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の測定値 (X)	10個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測 定 基 準	測	定	筃	所	摘	要
								中規模 小規模 以上 以下	中規模 以上							
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係	30	1	透水性舗装工(路盤工)		基準高▽	±50	_	基準高は片側延長 40m毎に1箇所の割 で測定。 厚さは、片側延長 40m毎に1箇所掘						
事 共 通		係					厚さ	t < 15cm -30	-10	り起こして測定。 幅は、片側延長 40m毎に1箇所測定。						
編							子 で	t ≧ 15cm	-15	※歩道舗装に適用する。						
							幅	-100	_							
3 土木工事共通編	3 共通施工	4 道路関係	30	2	透水性舗装工(表層工)		厚さ	-9	-3	幅は、片側延長40m毎に1箇所の割で 測定。 厚さは、片側延長 40m毎に1箇所コ						
事共通	工	係								アーを採取して測定。						
編							幅	-25	_	※歩道舗装に適用する。						
					透水性歩道舗 フィルター層		基準高	±50	0mm	基準高、幅は片側延長40mごとに1箇 所の割りで測定。 厚さは片側延長40mごとに1箇所の 割りで測定。						
							幅	-10	0mm	※歩道舗装に適用する。						
							厚さ	-10	0mm							

ЩТ	マハクド	3 2生2	区中	\times \cup ',	規格個 弗 3 稀	HJ .	上小工手	手										中江	: mm
									格値										
編	章	節	条			ì	則定項目	個々の 測定値 (X)	平均の 測定値 (X ₁₀)	測	定	基	準	測	定	筃	所	摘	要
3 ±	3 共通	4 道	31		路面切削工	厚	さ t	- 7	- 2	厚さは40m年 高の差で算出 [*]		装高切削	削後の基準			6			
小工事	3 共通施工	4道路関係				幅	W	-25	_	測定点は車道 中心とする。	中心線、	車道如	端及びその			Ī			
3 土木工事共通編										延長 40m未満 箇所とする。 断面状況で、 とが出来る。 測定方法は自 が出来る。	間隔、泡動横断泡	則点数を 則定法に	を変えるこ		現創	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	÷		
:H+ &	流い	4 道	32		舗装打換え工	路	幅 w		-50	各層毎1箇所	/ 1 施コ	_箇所							
木工事	3 共通施工	道路関係				路盤工	延長L		100										
3 土木工事共通編	1	VIV.				-	厚さ t 幅 w		4工種 -25					w			Tw		
編						舗設工			100	1					1	L	□ -		
						1	厚さ t	該当	4工種										
3 土+	3 共通施工	4 道	33		オーバーレイエ	厚	さt	_	- 9	厚さは40m年 イ後の基準高									
3 土木工事共通編	施工	道路関係				幅	w	_	-25	測定点は車道 中心とする。	中心線、	車道如	及びその			€ I			
共通						延	長 L	_	100	幅は、延長 40 延長 20m未満				.*		<u>.</u>			
						3	区坦性	_	3mプロフルルーター (σ) 2. 4mm以下 直読式 (足付き) (σ) 1. 75mm以 下	箇所とする。 断面状況で、 とが出来る。				t T 7	現制	廿 −へ- 接 w			
3 土木工事共通編	3 共通施工	4道路関係	34		落橋防止装置工		ンカーボ ト孔の削 孔長	設計	値以上	全数測定									
+共通編	4	NN					ンカーボント定着長	-20以内カ	9つ-1D以内	全数測定 D:アンカー:	ボルト省	E (mm)							

Щ/	トカクト	3 ×±2	公十 /	~ • •	規格値 男り編 で	17川編				<u></u> 単似:mm
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6河川編	1 築堤・	8水制工	8		杭出し水制工	基 準 高 ▽	±50	1組毎		
編	· · · ·	制工				幅 w	±300		w	
	護岸					方 向	± 7°		TO 0 0	
						延 長 L	-200			
									¥	
6河川編	1 築 堤・	11 光	3		配管工			接続部(地上機器部)間毎に1箇所。	(181811811	
編	堤 • : 誰	ケー				埋設深	0~+50		Ç t !	
	護岸	ブル						接続部(地上機器部)間毎で全数。	оф ඊ 	
		配				延長 L	-200	【管路センターで測定】	L H	
		管 工								
									接続部 接続部 (地上機器部)	
6河川編	1 築堤	11 光	4		ハンドホール工	基準高 ▽	±30	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
編	進 農	ケー				※厚さ t ₁ ~t ₅	-20		t 3	
	岸	ブル							W ₁	
		配管				※幅 w₁, w₂	-30		t ₁	
		Ī							h 1 h2	
						※高さ h, h ₂	20		ts	
						※同○ 11, 11 ₂	-30			

Щ7	下川クト	3 2 2 2	十分	XU.	規格但 第6編 7	リ川編				<u> </u> 単位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6河川編	3 樋門	3 樋門	6	1	函渠工 (本体工)	基 準 高 ▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前(載荷前) に測定する。	 	
編		•				厚さ t ₁ ~t ₈	-20	函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び 図面の寸法表示箇所で測定。	ts T	
	樋管	樋管本体工				幅 w ₁ , w ₂	-30	門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇	te	
		体工				内空幅 w ₃	-30	所で測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品	ts 🛨	
						内空高 w_1	±30	寸法を規格証明書で確認するものと	h ₁	
						延 長 L	-200	し、『基準高』と『延長』を測定。	t₁	
									t_1 t_2	
									W ₂	
									ts T	
									- ts	
									[
									L.	
6	3	3	6	2	函渠工			施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m		
6河川編	3 樋門・	3 樋門	O	2	(ヒューム管)	基 準 高 ▽	±30	以下のものは1施工箇所につき2箇		
編	種管	•			(PC管) (コルゲートパイプ)	延 長 L	-200	所。 1 施工箇所毎		
	官	樋管本体工			(ダクタイル鋳鉄管)	д _K L	-200			
		工							(())	

_	ミカシ 官			_		リノリオ					早 仏:mm
編	章	節	条	枝番			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6河川編	3 樋門	3 樋門	7 8		翼壁工 水叩工		基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。	t w t	
編		•					厚 さ t	-20		Й ПТ	
	樋 管	樋管本体工					幅 w	-30		h h	
		体工					高 さ h	±30		w w	
							延 長 L	-50			
										r	
6河川編	4 水 門	4 水	7 8		床版工 堰柱工		基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。		
編	門	4水門本体工	9 10		門柱工 ゲート操作台工		厚 さ t	-20			
		王	11		胸壁工		幅 w	-30			
							高 さ h	±30			
							延 長 L	-50			
6河川編	5 堰	4可	13 14		開門工 土砂吐工		基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。		
編		可動堰本体工					厚 さ t	-20			
		体 工					幅 w	-30			
							高 さ h	±30			
							延 長 L	-50			
6河川編	5 堰	5 固 定	8 9		堰本体工 水叩工		基 準 高 ▽	±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工 継手箇所及び構造図の寸法表示箇所で		
編		5固定堰本体工	10		土砂吐工		厚 さ t	-20	測定。	w	
		14 工					幅 w	-30			
							高 さ h	±30		h I t	
						堰長 L	L < 20m	-50		<u>+</u> ,	
						Ĺ	L ≧20m	-100			

Щ	ベルノト	→ ~ <u></u> /	五十,	\mathcal{L}	祝俗但 男り柵 (1) / I /I /I /III				<u> 177. : mm</u>
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6 河	5 堰	6 魚	3		魚道本体工	基 準 高 ▽	±30	施工延長40mにつき1箇所、40m以下 のものは1施工箇所につき2箇所。		
河川編		魚道工				厚さ t ₁ , t ₂	-20	(なお、製品使用の場合の製品寸法は、 規格証明書等による)		
						幅 w	-30	祝俗証明書寺による)	t1 w t2	
						高さ h ₁ , h ₂	-30		h ₂	
						延 長 L	-200		hı 🗸 🗸	
									<u> </u>	
6 河	5 堰	7 管	2		管理橋橋台工	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は図面の寸法表示箇所で測		
6河川編		理橋				厚 さ t	-20	定。		
		7管理橋下部工				天 端 幅 w ₁ (橋軸方向)	-10		W2 W1 W2 W1	
						天 端 幅 w ₂ (橋軸方向)	-10			
						敷 幅 w ₃ (橋軸方向)	-50		h ₁	
						高 さ h_1	-50			
						胸壁の高さ h ₂	-30			
						天 端 長 ℓ 1	-50		Ws Ws	
						敷 長 0 2	-50		W2 W1 W2 W1	
						胸壁間距離 0	±30			
						支 点 長 及 び 中心線の変 化	±50		h1 h1 t	
									125+, 125+	

<u> </u>	₹ /1/ ⊨	1.44	<u> </u>	,	枕俗恒 弗口柵 代	17日7年				平位:mm
編	章	節	条			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6河川編	6排水機場	3機	6		本体工	基 準 高 ▽	±30	図面の表示箇所で測定。	L +	
編	機場	3機場本体工				厚 さ t	-20			
	-7/13	土				幅 w	-30		ŏ 🗆 🗎	
						高さ h ₁ , h ₂	±30			
						延 長 L	-50			
6	6	3	7		燃料貯油槽工	#	1.00	図面の表示箇所で測定。		
6河川編	6排水機場	機場			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	基準高▽	±30		L	
編	機場	3機場本体工				厚 さ t	-20		T	
		上				幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
									(h	
6 河	6 排	4 沈	7		コンクリート床版工	基 準 高 ▽	±30	図面の表示箇所で測定。		
6河川編	6排水機場	4沈砂池工				厚 さ t	-20		L	
	場	上				幅 w	-30		•	
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
									h	
									, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

ЩЖ	マカクト	日 /生2	五中	X U	規格値 第6編 で	可川編				<u> </u> 単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
6河川編	7床-	3 床	6	1	本体工 (床固め本体工)	基準高▽	±30	図面に表示してある箇所で測定。		
編	床止め・	床止め工				天 端 幅 W ₁	-30			
	床固め	上				堤 幅 W ₂	-30		Li	
	め					堤 長 L ₁ , L ₂	-100			
						水通し幅ℓ₁,ℓ₂	±50			
									L2 w2	
6 河	7 床	3 床	8	1	水叩工	基 準 高 ▽	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある 箇所で測定。		
河川編	床止め・	床止め工				厚 さ t	-30	厚さは目地及びその中間点で測定。	L -	
	床固め					幅 w	-100		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	め					延 長 L	-100			
									w	
6 河 川	7床-	4床	6		側壁工	基準高 ▽	±30	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端		
編	床止め・	床固め工				天 端 幅 W ₁		幅・天端高で各測点及びジョイント毎に 測定。		
	床固め					堤 幅 W ₂	-30	3. 長さは、天端中心線の水平延長、又	L w1	
	め					長 さ L	-100	は、測点に直角な水平延長を測定。	V V	
									M2	

	米形	官理。	医华,	及い	規格値 第7編 平	1川伊戸編				<u></u> 早位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7河川海岸編	1 堤防・	3護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ▽	- 50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
海岸	護岸	基礎				幅 w	-30	所。	/ RY 🖵 T	
編	岸	Ī				高 さ h	-30		L L	
						延 長 L	-200		h w	
7	1 堤 防	3護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロ ックエ	基準高▽	±50	ブロック個数40個につき1箇所の割で 測定。基準高、延長は施工延長40mに	/ 02/	
河川海岸編		基礎				ブロック厚 t	-20	つき1箇所、延長 40m以下のものは1 施工箇所につき2箇所。	/ 8	
編	護岸	工				ブロック縦幅w ₁ ブロック横幅w ₂	$-20 \\ -20$	心上面///(こうさ 2 画//)。		
						延 長 L	-200		t	
									\mathbf{w}_1	
7 河	1 堤防 •	4 護岸工	4		海岸コンクリートブロ ックエ	基準高▽	±50	施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m 以下のものは1施工箇所につき2箇		
河川海岸編	- 護	工				法 0 < 5 m 長	-100	所。		
編	護岸					$\ell = \ell \geq 5 \mathrm{m}$	<pre>ℓ × (-2%)</pre>		$\stackrel{\scriptstyle \searrow}{\searrow}$	
						厚 さ t	-50		١ / ١	
						延 長 L	-200		/ <i>X</i> .	
									A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	

出力	长州夕旬	了理点	古华	及い:	規格値 第7編 平	川海岸編			<u>!</u>	単位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7 河	1 堤 防・	4護岸工	5		コンクリート被覆工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇	,	
7河川海岸編	b) • : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	岸工				法 長	-50	所。		
編	護岸					$\ell = 0$ $\ell \geq 3 \mathrm{m}$	-100		A SECOND	
						厚 t <100 さ t t ≥100	-20		\ <u>\</u>	
						t ≥100	-30		The state of the s	
						裏 込 材 厚 t'	-50		t'	
						延 長 L	-200			
7 河	1 堤	6 天	2		コンクリート被覆工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
河川海岸編	1堤防・護岸	天端被覆工				幅 w	-50	所。		
編	岸	Ĭ.				厚 さ t	-10		W V	
						基 礎 厚 t'	-45			
						延 長 L	-200		/:/ \tag{t},	
									71.71	
7 河	1 堤	7 波	3		波返工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m		
河川海岸編	堤防・護岸	7波返工				幅 w ₁ , w ₂	-30	以下のものは1施工箇所につき2箇 所。		
岸編	護岸					高さ h < 3 m	-50		\mathbf{w}_1 \mathbf{w}_2	
						h ₁ , h ₂ , h ₃ 高さ h≧3 m	-100		T T	
						h ₁ , h ₂ , h ₃			h ₁ h ₂	
						延 長 L	-200		h ₁	
									 / /	
									</td <td></td>	

Д	→	コク 目			X U;	規格但 弗 / 編 /	リ川伊戸編				<u> 串江:mm</u>
ŕ	編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
Ŷ	7 可	2 突堤	3突堤基礎工	4		捨石工	本均し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		
1	可川毎岩漏	:	基本				表面均し	± 100			
着	ニニニー	全岬	工				選	±500		2 3 1	
							高し、異形ブロック据付面は積り以外の高さ	±300			
							被 異形ブロック据付面覆 (乱積)の高さ均 異形ブロック据付面	±500		w ₁ .(L ₁)	
							取り 異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300		1	
							法 長 ℓ	-100	幅は施工延長40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2	1	
							天 端 幅 w ₁	-100	箇所、延長はセンターライン及び表裏 法肩。		
							天 端 延 長 L ₁	-200	IA/H ₀		
Ý	7 可	2 突堤	3 突	5		吸出し防止工	幅 w	-300	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇	L I	
) }	可川毎学漏	į.	3 突堤基礎工				延 長 L	-500	所。	<u>├</u> ── ├ ── ├	
ŕ	扁	工岬	工							w	
										11	
Ŷ	7 可 II	2 突堤	4 突 堤	2		捨石工	基 異形ブロック据付面 準 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1 測点当たり5 点以上測定。		
*	可川毎岸編	人	4突堤本体工				局 ▽ 異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300		2 3 £	
Ti.	畑	工岬					法 長 ℓ	-100	幅は施工延長40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2	0/	
							天 端 幅 W ₁	-100	箇所、延長はセンターライン及び表裏 法肩。		
							天 端 延 長 L ₁	-200	IA/H0	w1.(L1)	
										1	

出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

単位:mm

_Щ	木川グト	3 生2		X 0.	規格個 弗 / 編 平]川海戸編				単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7河川海岸編	2突堤・人工岬	4突堤本体工	5		海岸コンクリートブロ ックエ	正 (層積) ブロック 規格26 t 未満 (層積) ブロック 規格26 t 未満 (層積) ブロック 規格26 t 以上 (乱 積) 天端幅 W 天端 延長 L	±300 ±500 ±ブロックの 高さの1/2 ーブロックの 高さの1/2 ーブロックの 高さの1/2	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所。延長は、センターラインで行う。	w L L	
7河川海岸編	2突堤・人工岬	4 突堤本体工	9		石砕工	基 準高 ▽ 厚 さ t	±50 -50 -50 -100 -200	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎	h x	
7河川海岸編	2 突堤・人工岬	4突堤本体工	10		場所打コンクリートエ	基準高▽ 幅 w 高 さ h 延 長 L	±30 -30 -30 -200	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所。	h V	

編 京 所 条 校送 T 種 別 定 項 目 規 悠 値 別 定 基 率 別 定 館 (所 摘 索) 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ЩЭ	トハント	3 44.2		X 0',	規格他	7川海戸編	•		-	毕位:mm
(シーソンT製作)	編		節	条			測定項目	規格値		測 定 箇 所	摘要
###	7 河	2 突!	4 突	11	1		バー	±100	各室中央部1箇所		
編 w +30, -10 西裔 か h; +30, -10 西裔 が h; 中央部及び逐版と天端は 西湾地域に中央部及び逐版と天端は 西湾地域に中央部及び逐版と天端は 西湾地域に中央部及び逐版と天端は 西裔 が h; +30, -10 西裔 が h; 中ツンエ h h; 上 h	川海岸編	堤・人工岬	堤本体工				ラストの基準 高▽	±50		h ₁	
一							壁 厚 t ₁	±10	底版完成時、各壁1箇所	1 t2 t2 h2	
展 さ L +30, -10 長							幅 w	+30, -10	両端	t ₁	
変数 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 2							高 さ h ₁	+30, -10			
日本 1 1 2 2							長 さ L	+30, -10	両端		
フーチング高さh2 +30, -10 底版完成時、四隅 振付完了後、両端2箇所							底版厚さ t 2	+30, -10		L	
一							フーチング高さh ₂	+30, -10			
押	7河川海	2 突堤・	4突堤本:	11	2			2000 t 未満	据付完了後、両端2箇所	1'	
据付目地間隔 1	岸編	人工岬	体工				1, 2	2000 t 以上			
1							据付目地間隔	2000 t 未満	据付完了後、天端2箇所	H	
本							1', 2'	2000 t 以上		2	
本	7 河	2 突堤	4 突堤	11	3	(突堤上部工)	進	±30	1室につき1箇所(中心)	w w	
厚さt ±30 ママナ 幅 w ±30	海岸編	•	本体工			海岸コンクリートブ	高	±50			
	ddin	岬				µ у //	厚 さ t	±30			
長 さ L ±30							幅 w	±30		<u> </u>	
							長 さ L	±30			

ЩЛ	ヘハン E	3 × X Z	公 十/	X 0 7	規格但 男 / 編 也	1/1111	: 戸編				毕业:mm
編	章	節	条	枝番		U	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7 河	2 突堤・	4 突	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	昼	産 厚 t	±10	型枠取外し後全数		
7河川海岸編	堤 ・ 人	4突堤本体工				ф	≣ w	+20, -10			
編	人工岬	芷				ī	高 さ h	+20, -10		h LLL	
						ł	₹ さ L	+20, -10			
										tt	
7 河	2 突堤・	4 突	12	2	セルラーエ (セルラー工据付)		法線に対する 出入 1、2	±50	据付後ブロック1個に2箇所(各段毎)		
7河川海岸編	堤・人	4突堤本体工			(=: 3 —##14)	ß	#接ブロックと 間隔1'、2'	50以下		1'	
編	人工岬	Ï				0)	利			2	
										H 2'	
7 河	2 突堤・	4 突	12	3	セルラー工 (突堤上部工)	基準	陸上	±30	1室につき1箇所(中心)		
河川海岸編	堤・人工	4突堤本体工			場所打コンクリート 海岸コンクリートブ	基準高▽	水中	±50		* W *	
郗	岬	上			ロック	J <u>.</u>	享 さ t	± 30		r [=}=	
						幅	W	± 30		<u> </u>	
						£	₹ さ L	± 30			
7 河	2 突 堤	5根	2		捨石工	基準	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500	施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。		
7河川海岸編	堤 ・ 人 工	5根固め工				基準高▽	異形プロック据付面(乱積)以外の高さ	±300		w	
編	工岬					ř	は 長 0	-100	幅は施工延長40mにつき1箇所、延長	Zw Zw	
						尹	端 幅 w	-100	40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所、延長はセンターライン及び表裏	Amound .	
						天	端 延 長 L	-200	法肩。		

Щ/	トハント	3 25.2	公 十八	X 0 ;	規格他	刊川浩	<i>≯)</i> → //₩				<u></u> 串似:mm
編	章	節	条	枝番		測	定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7河川海岸編	2 突堤	5根固め工	3		根固めブロック工	基準高	層 積	±300	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇	L ₁	
海		固めて				∇	乱積	± t/2	所。	W1	
編	人工岬	上				厚	さt	-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。		
	'''					幅w ₁	層積	-20			
						\mathbf{w}_2	乱積	- t/2			
						延長 L ₁	層積	-200	1 施工箇所毎		
						L_2	乱積	- t/2		* I O O O U	
7	2 突堤・	6消波工	3		消波ブロック工	基準高	層積	±300	施工延長 40mにつき 1 箇所。延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇	L ₁	
河川海岸編	し よ	五				∇	乱積	\pm t \angle 2	所。		
編	人工岬					厚	さt	-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。	w ₂	
						帽	$\mathbf{\hat{t}}$ \mathbf{W}_1 , \mathbf{W}_2	-20		L ₂	
						廹	長 L ₁ , L ₂	-200			
7 河	3 海	3 海	3		捨石工	7	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		
河川海岸編	海域堤防	海域堤基礎工				基荒均	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	· 亦名上坡八。	2 3 A	
編	(人 エ リ	礎工				準高	異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300		0 0	
	リーフ、					▽被覆均	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500			
	、離岸堤、					均し	異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300		W1.(L1)	
						法	長0	-100	幅は施工延長40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2	0	
	潜堤)					天	端 幅 W ₁	-100	箇所、延長はセンターライン及び表裏 法肩。	-V	
						天	端 延 長 L ₁	-200			

Щ	IN/1/ F	1 110		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	兄俗但 另 〇 柵 心	アドシノが囲				半位
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
8砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 材 部材長ℓ (m)	$\pm 3 \cdots$ $\ell \le 10$ $\pm 4 \cdots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所で測定。		
8砂防編	1 砂防堰堤	6コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	基準高▽ 天端部 W ₁ , W ₃ 堤幅 W ₂ 水通しの幅0 10 2 堤長 L ₁ , L ₂	±30 -30 ±50 -100	図面の表示箇所で測定。	$\begin{array}{c c} L_1 & & & w_1 \\ \hline & 0 & & & & \\ \hline & & & & & \\ \hline & & & & & \\ \hline & & & &$	
8 砂防編	1 砂防堰堤	6コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ▽ 幅 w ₁ , w ₂ 長 さ L	±30 -30 -100	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。	L W1 - I - W1 - V W1 - V W2	

上 土	代7万年	了理点	5年/	X ()	規格値 第8編 め	沙沙	補				<u></u> 早位:mm
編	章	節	条	枝番			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
8砂防編	1砂防堰堤	6コンク	8		水叩工		基 準 高 ▽	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。	L the D	
	堤	IJ Į					幅 w	-100			
		ト堰堤工					厚 さ t	-30		П	
							延 長 L	-100		w	
8砂防編	1砂吃	7 鉄	5	1	鋼製堰堤本体工 (不透過型)		堤 高 ▽	±50	1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤		
編	砂防堰堤	鉄製堰堤工				水通	長 さ ℓ	±100	高、幅、袖高は+の規格値は適用し ない。	W ₁	
		エ				部	幅 W ₁ , W ₃	±50		$\frac{\mathbb{Q}_2}{\mathbb{Q}_2}$	
							下流側倒れ 🛮	±0.02H		H_1	
						袖	袖 高 ▽	±50			
						部	幅 w ₂	±50		$\stackrel{Fw}{\longrightarrow} \stackrel{F}{\Delta}$	
							下流側倒れ 🛮	±0.02H			
8砂防編	1砂防	7 鉄	5	2	鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤長	L (m) 格	±50	(備考) 格:格子型鋼製砂防ダム	L/	
編	砂防堰堤	鉄製堰堤工				堤長	他 (m) 格・B・L	± (10+0 /10)	A:鋼製スリットダム A型 B:鋼製スリットダム B型	III — T	
		エ				堤幅	iW (m)格	±30	L:鋼製スリットダム L型	A LOCAL H	
						堤幅	św (m) 格·B·L	$\pm (10 + w/10)$		w k w	
						堤幅	łw (m) A	± 5		図 a 図 b 格子形 鋼製スリット 鋼製砂防ダム ダムA型	
						高さ	H (m) 格·B·L	$\pm (10 + H/10)$		W.	
						高さ	H (m) A	± 5			
										H	
										図 c 図 d 網製 L型 ダム B型 スリットダム	

ЩЛ	ヘハグド	3 447.2	日十八	X O 7	規格個 男8編 似	沙刀稀				<u> 串江:mm</u>
編	章	節	条	枝番		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
8砂防編	1砂防堰堤	7 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	提 高 ▽ 長 さ L 幅 w ₁ , w ₂ 下流側倒れ △ 高 h < 3 m h ≧ 3 m	± 50 ± 100 ± 50 $\pm 0.02H$ -50 -100	1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤 高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。	Ł WI WI H	
8砂防編	2流路	4床固め工	8		魚道工	基 準 高 ▽ w 高 さ h ₁ , h ₂ 厚 さ t ₁ , t ₂ 延 長 L	±30 -30 -30 -20 -200	施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m 以下のものは1施工箇所につき2箇 所。なお、製品使用の場合は、製品寸 法については規格証明書等による。	h ₁ h ₂	
8 砂防編	3 斜面対策	5山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基準高▽厚さ t ₁ , t ₂ 幅 w 幅 w ₁ , w ₂ 高さ h ₁ , h ₂ 深 さ h ₃ 延 長 L	±30 -20 -30 -50 -30 -30 -200	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所。(なお製品使用の場合は、製品寸法 は、規格証明書等による)	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	

	111/1/	7 - 1-0		~ 0 /	規格値 男 8 編 的	沙角		-		<u></u> 単位:mm
編		節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
8 砂防編	3 斜	6 地	4		集排水ボーリング工	削孔深さ0	設計値以上	全数		
編	3斜面対策	6地下水排除工				配置誤差d	100			
	×	除工				せん孔方向 θ	±2.5度		\bigcirc \Box , †	
									Ĥ '	
									•	
									$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
									$\mathbf{d} = \sqrt{\mathbf{x} + \mathbf{y}}$	
8 砂防編	3斜面対策	6地下水排除工	5		集水井工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	w	
編	対策	水排				偏心量d	150			
		除工				長 さ L	-100		(x) I y	
						巻 立 て 幅 w	-50		\sqcup	
						巻立て厚さ t	-30		x	
									$d = \sqrt{\chi^2 + y^2}$	
									- VX I y	
8	3	8	6		合成杭工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。		
8 砂防編	3斜面対策	8抑止杭工				偏心量d	D/4以内			
7/11	策	芷					かつ100以内			

14/	*/I/ -		L 1 /			· 公////////////////////////////////////		1		于江,Ш
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダム	1 7	4 ダム			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標	天端幅	
編	クリ	ムコン				天 端 幅	±20	準とする。 ①天端高(越流部堤頂高を含む)は、	₩ ₩	
	1	クリ				ジョイント間隔	±30	各ジョイントについて測定。	\bigcap	
	ダム	トエ				リフト高	±50	②堤幅、リフト高は、各ジョイント について5リフトごとに測定。	堤幅	
		Т.				堤幅	-30, +50	(注) 堤幅、リフト高の測定は、 上下流面型枠と水平打継目の接	JUZ NA	
						堤長	-100	触部とする。(堤幅は、中心線又 は、基準線との関係づけも含む)	- // // // // // // // // // // // // //	
								③ジョイント間隔(横継目)は、5		
								リフトごと上流端、下流端を対象 に測定。	堤長	
								④堤長は、天端中心線延長を測定。 3.		
								①越流堤頂部、天端仕上げなどの平 坦性の測定方法は、監督職員の指		
								坦性の例定方伝は、監督職員の指 示による。	ジョイント間隔	
								②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性 などの測定方法は監督職員の指示		
								などの側足方伝は監督職員の指示 による。	(注)1. j:ジョイント	
9 ダ	1 ==	4 ダ			コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標		
ム編	ンクリ	ムコン				ジョイント間隔	±30	準とする。 ①天端高 (敷高) 、ジョイント間は各	<u>長さ</u>	
	ート	クリ				幅	±40	ジョイント、各測点の交点部を測定。	V	
	タム	トエ				長 さ	-100, +60	②長さは、各ジョイントごとに測定。	1 2	
								③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の		
								指示による。		
									n	
									選 <u>測点</u> 	
									長さ 測点 測点	
										

ЩЛ	ヘハノ F	3 P.T.	ムール		兄俗胆 男3柵 グ	ム 神				中位:
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダム編	1 = =	4 ダ			コンクリートダムエ (副ダム)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標		
編	ンクリ	ムコン				ジョイント間隔	±30	準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測	New Control of the Co	
	Ĺ	クリ				リフト高	±50	定。	リフト東	
	ダム	アイー				堤幅	-30, +50	②堤幅、リフト高は、各ジョイント について3リフトごとに測定。	7/ WA .//	
		工				堤 長	±40	(注) 堤幅、リフト高の測定は、 上下流面型枠と水平打継目の接		
								触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)	<u> </u>	
								③ジョイント間隔は、3リフトごと	***	
								上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。	製品 製品 製品 製品 製品 製品 製品 製品	
									横奏	
									J:ジェイント	

ЩЛ	V/I/ F	J * JL-2		~ •		·	1	_		干压,皿
編	章	節	条	枝番		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダム	1 コ ン	4 ダム			コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	±30	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標	天燈幅	
ム編	クリ	ムコン				ジョイント間隔	±20	準とする。 - ①天端高、天端幅は、各測点、又は	天神報	
	ĺ	クリ				リ フト高	±50	ジョイントごとに測定。	/推立 報	
	ダム	トエ				長 さ	±100	②リフト高、厚さは、各測点、又は ジョイントについて3リフトごと	/ <u>\$</u>],	
		エ				厚さ	±20	に測定。 (注)リフト高、厚さの測定は、		
								前面、背面型枠設置後からとす		
								る。なお、リフト高、厚さの測 定箇所は、前面背面型枠と水平	(副ダム郎) 瀬点 」	
								打継目の接触部とする。 ③長さは、天端中心線の水平延長又		
								は、測点に直角な水平延長を測定。	(未印盤) 相称	
									(本体郵) 製点	
									J:ジェイント	

	17/1/	_ ·		~ _ /		— · ////////				平江, IIIII
編	章	節		枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダム編	2フィルダム	3 盛立工	5		コアの盛立	基準高 ▽ 外側境界線	-0 -0, +500	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピング ローラ)の場合		
9 ダム編	2フィルダム	3 盛立工	6		フィルターの盛立	基 準 高 ▽ 外 側 境 界 線 盛 立 幅	-0 -0, +1000 -0, +1000	各測点について 5 層毎に測定。	Q. フィルター幅 ロック幅 コア幅	
9 ダム編	2フィルダム	3 路立口	7		ロックの盛立	基 準 高 ▽ 外 側 境 界 線	-100 -0, +2000	各測点について盛立5m毎に測定。		

长江	マガシ官	了理点	古 中 /	义 U^;	規格値 第9編 タ	イム編 ニュー・ニュー				単位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9ダム編	2 7				フィルダム (洪水吐)	基準高▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 1回/1施工箇所		
編	イルダ				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ジョイント間隔	±30	- · · - // - // - // - // - // - // - /		
	ム					厚 さ t	±20		, w .	
						幅 w	±40			
						リフト高さ	±20		→ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
						長 さ L	±100			
									ジョイント間隔	
9	3	3 ボ			ボーリング工	 深 度 L	設計値以上	ボーリング工毎		
9ダム編	3基礎グラウチング	1				配置誤差	100	※配置位置の規定はコンクリート面で 行うカーテングラウトに適用する。		
77112	ラウ	-リングエ								
	ナンガ	工								
									87	
									L	
									0_	

出う	长形军	了理互	华汉	び規格値 第10編	追路編				単位:mm
編	章	節	条 枝	工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	1道路改良	3工場製作工	2	1 遮音壁支柱製作工	部材長0 (m)部材	$\begin{array}{c} \pm \ 3 \cdots \ell \ \leq 10 \\ \pm \ 4 \cdots \ell \ > 10 \end{array}$	図面の寸法表示箇所で測定。		
10 道路編	1 道路改良	5擁壁工	7	補強土壁工 (補強土 (テールアル メ) 壁工法) (多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	基準高▽ 高され h < 3 m h ≥ 3 m 鉛直度△ 控え長さ 延長し	±30 -50 -100 ±0.03hかつ ±300以内 設計値以上 -200	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
10 道路編	1道路改良	7カルバート工	6	場所打函渠工	基準高▽ 厚さt ₁ ~t ₄ 幅(内法) w 高さh 延長 L <20m L≥20m	±30 -20 -30 -30 -50 -100	両端、施工継手及び図面の寸法表示箇 所で測定。	t ₁ w t ₂ L t ₃	
10 道路編	1道路改良	9 落石雪害防止工	4	落石防止網工	幅 w 延 長 L	-200 -200	1 施工箇所毎		
10 道路編	1道路改良	9落石雪害防止工	6	防雪柵工	高 さ h 延 長 L 基 幅 w ₁ , w ₂ 高 さ h	±30 -200 -30 -30	施工延長40mにつき1箇所、施工延長 40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。 1施工箇所毎 基礎1基毎		

Щ/	\ / /	, . <u></u>			水作區 为10厘		+ 1 1. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	摘 要
10 道路	1道路改良	9落石雪害防	7		雪崩予防柵工	施工延長40mにつき1箇所、施工延長 高 さ h ±30 40m以下のものは1施工箇所につき2 箇所。	
編	艮	善防-				延 長 L —200 1 施工箇所毎	
		正工				基 幅 w ₁ , w ₂ —30 基礎1基毎	
						高 さ h -30	
						T 力 打 込 み 0 -10%	
						長 埋 込 み l	
10 道	1道路改良	10 遮	4		遮音壁基礎工	幅 w -30 施工延長40mにつき1箇所、施工延長40m以下のものは1施工箇所につき2	
路	路改品	音				高 さ h —30 箇所。	
編	艮	壁 工				延 長 L —200 ^{1 施工箇所毎}	
10 道	1道路改良	10 遮	5		遮音壁本体工	間 隔 w ±15 施工延長5スパンにつき1箇所	
路編	路改貞	音壁				支 ず れ a 10	
/l/liti	IX.	工				柱 ねじれ b-c 5	
						倒 れ d h×0.5%	
						高 さ h +30, -20	
						延 長 L -200 1 施工箇所毎	

ЩΆ	マハシ E	3 上生 2	古中	X UN	規俗個 弗.	I U 浉	1 退路桶	Ħ				单位:mm
編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模	格 値 10個の測定値 の平均 (X ₁₀) 中規模	測定基準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	2舗装	3舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工		基準高▽	以上 以下 ±50 t <	以上 ————————————————————————————————————	基準高は片側延長 40m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長 40m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長 40m毎に1箇所測定。 ※両端部2点で測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が2000㎡以上とする。 小規模とは、一層あたりの施工面積 が2000㎡以上2,000㎡未満とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
10 道路編	2 舗装	3舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工		厚幅	- 9 -25	- 3 -	幅は、片側延長 40m毎に1箇所の割で 測定。厚さは、片側延長40m毎に1箇 所コアーを採取して測定。		

ЩЛ	トハノト	7 *	<u> </u>	X O ,	九竹匠 为 1 0 mm					平江 . IIIII
編	章	節	条	枝番		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	2舗装	4排水構造物工	9		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ▽	±30	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇 所。 1 箇所 / 1 施工箇所		
						延 長 L	-200			
10 道	2舗装	6踏	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	±20	1箇所/1踏掛版		
路編	装	踏掛版工			, , ,	各部の厚さ	±20	1箇所/1踏掛版		
///111						各部の長さ	±30	1箇所/1踏掛版		
					(ラバーシュー)	各部の長さ	±20	全数		
						厚き	_			
					(アンカーボルト)	中心のずれ	±20	全数		
						ア ン カ ー 長	±20	全数		
10 道 路	2舗装	8標識工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 w ₁ , w ₂	-30	基礎一基毎	W1	
路編	衣	工				高 さ h	-30		w ₂	
									<u> </u>	
									h	
									*	
10 道	2 舗 装	8標識工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上	1箇所/1基		
路編	装	識工			(137: μμ. (1)					
形冊										
									н	

ЩЭ	トハクト	3 44.2	区中人	X U	規格他 - 男 I U 編	担 路桶				単位:mm
編	章	節		枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	2 舗装	11 道	5	1	ケーブル配管工	埋設深t	0~+50	接続部間毎に1箇所		
路編	装	路 付				延 長 L	-200	接続部間毎で全数	<u>ç</u> t !	
が抽		属							οφὄ i	
		施設							L J	
		エ								
									接続部 接続部 (地上機器部)	
10	0		_	0	1. ~ ~ #7/** ~			a lote of less	(Casa be in Fir)	
10 道	2舗装	11 道	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	基準高▽	±30	1 箇所毎 ※印は、現場打ちのある場合		
路編	20	路 付				※厚さ t₁∼t₅	-20		w ₁	
		属 施				※幅 w ₁ , w ₂	-30		t ₄	
		設				※高さ h ₁ , h ₂	-30		ТП Т П	
		エ							h ₁ h ₂	
									ts ts	
10	2	11	6		照明工			1 箇所 / 1 施工箇所		
道	2 舗装	道	Ü		(照明柱基礎工)	幅 w	-30			
路編		路 付				高 さ h	-30			
		属施							w w	
		設工							(°) w	
									₩ [™]	

山力	长7万年	了理点	古中人	又 ()	規格値 第1	ひ 補用	坦i	路編				甲位:mm
編	章	節	条	枝番		種		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	3橋梁下部	3工場製作工	ധ		鋼製橋脚製作工		ა	脚柱とベースプレ ートの鉛直度 δ (nm)	w/500	各脚柱、ベースプレートを測定。	脚柱 ベースプレート w	
							材	ベ 孔の位置 ス プ	± 2	全数を測定。	\$ 8	
								レ 孔 の 径 	0~5	全数を測定。	^à 8	
							仮 組	柱の中心間隔、 対角長L(m)	$\begin{array}{l} \pm \ 5 \cdots \\ L \le 10m \\ \pm 10\cdots \\ 10 < L \le 20m \\ \pm \ (10 + \ (L - 20)/10) \\ \cdots 20m < L \end{array}$	両端部及び片持ばり部を測定。	L	
							立時	はりのキャンバー 及び柱の曲がり δ (mm)	L/1,000	各主構の各格点を測定。	δ	
						,		柱の鉛直度 δ (mm)	10…H≦10 H…H>10	各柱及び片持ばり部を測定。		
											nus ren ros	

ЩЛ	マハク ほ	3 44.2	6年/	X U',	規格値 弗IU椨		谷編				单位:mm
編	章	節	条	枝番			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	3橋	4橋台工	8		橋台躯体工		基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は寸法表示箇所。	W2 W1 W2 W1	
路編	橋梁下部	工					厚 さ t	-20		. 	
柳田	ЧП						天 端 幅 w ₁ (橋軸方向)	-10		t	
							天 端 幅 w ₂	-10		t hi t	
						-	(橋軸方向) 敷 幅 w ₃			+	
							(橋軸方向)	-50		w ₃ w ₃ '	
							高 さ h	-50		W2 W1 W2 W1	
							胸壁の高さ h2	-30		W2 W1 W2 W1	
							天 端 長 0 1	-50		.	
							敷 長 0 2	-50			
							胸壁間距離 ℓ	±30		+ - + + +	
						支	間 長 及 び 中心線の変位	±50		Ws Ws	
						支承部ア	計画高	+10~-20		海壁間距離 Q	
						ンカーボル	平面位置	±20			
						トの箱抜き規格値	アンカーボルト孔の 鉛直度	1 /50以下			

ЩЭ	トハクト	3 生2	区中	X, U`	規格但 弗」	LU編	坦斯	⊐ 7/ 1/111							単位:mm
編	章	節	条	枝番		種	į	測定項目	規格	値	測	定 基		測 定 箇 所	摘要
10 道	3 橋辺	5 R	9	1	橋脚躯体工 (張出式)		Ž	基 準 高 ▽	±2	0	橋軸方向の断 部、その他は		中央及び両端 所。	w ₁	
道路編	橋梁下部	RC橋脚工					J	厚 さ t	-2	0]			→	
		エ					5	F 端 幅 W ₁ (橋軸方向)	-2	0				h t	
							j	數 幅 w ₂ (橋軸方向)	-5	0]			W ₂	
							i	高 さ h	-5	0	1			_ w ₁ l ₁	
							Ē	F 端 長 ℓ ₁	-5	0					
							J.	數 長 ℓ ₂	-5	0]			l l l t	
								脚中心間 距離 ℓ	±3	0				W ₂	
							支	間 長 及 び 中心線の変位	±5	0				w2 £2	
							支承部	計画高	+10~	-20				機脚中心閉距離 C 支間長	
							アンカーボル	平面位置	±2	0					
							トの箱抜き規格値	アンカーボルト孔の 鉛直度	1 /50	以下					

Щ	ヘハクロ	3 44.2	五十	又 ()	規格他	退 路編				毕似:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	3 橋沼	5 R	9	4	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高 ▽		橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は寸法表示箇所。		
路編	橋梁下部	RC橋脚工			, , , ,	厚 さ t	-20		w:	
州田	дβ	T.				天 端 幅 W ₁	-20		<u>↑</u> ↑	
						敷 幅 W2	-20		h	
						高 さ h	-50		↓ Tt	
						長 さ ℓ	-20			
						橋脚中心間 距 離 ℓ	±30		± 00	
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50		h tttt	
									W ₂ W ₂ W ₂ 機脚中心間距離 €	
									文間長	
10 道	3 橋沙	6 鋼	9	1	橋脚フーチング工 (I 型・T型)	基準高▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は寸法表示箇所。		
路編	3橋梁下部	6鋼製橋脚工				幅 w (橋軸方向)	-50		57	
,,,,,		エ				高 さ h	-50		≠ 4 + 1	
						長 さ 0	-50		k w → k L → '	
									F - +	
									<u>∀</u>	
									<u> </u>	

14/	\ / /	1 . 11.0	<u> </u>	,,,,,	九竹匠 为10厘	但咋姍		_		平位,11111
編	章	節	条			測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	3橋梁下部	6鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチングエ (門型)	基 準 高 ▽ 幅 w ₁ , w ₂ 高 さ h	±20 -50 -50	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は寸法表示箇所。	h The way	
10 道路編	3橋梁下部	6鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基準高▽ 橋脚中心間距離ℓ 支間長及び 中心線の変位	±20 ±30 ±50	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
10 道路編	3橋梁下部	6鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	基準高▽ 橋脚中心間距離ℓ 支間長及び 中心線の変位	±20 ±30 ±50	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端 部、その他は寸法表示箇所。		
10 道路編	3橋梁下部	6 鋼製橋脚工	11		現場継手工	現場継手部のすき間 δ ₁ , δ ₂ (mm)	5 ※±5	主桁、主構の全継手数の 1/2を測定。 ※は耐候性鋼材(裸使用)の場合		

<u>Ш</u> ;	长刀夕官	生力	5年/	义 ()*;	規格値 第10編	直路編				単位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	4 鋼橋上部	3工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	部 材 部材長ℓ (m)	± 3 ······ ℓ ≤10 ± 4 ······ ℓ >10	図面の寸法表示箇所で測定。		
10 道路編	5コンクリート橋上部	5プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工 (現場)	幅 w 高 さ h 析 長 l スパン長 横方向最大タワミ	±5 +10 -5 0 <15···±10 0 ≥15··· ± (0 -5) カン -30mm以内 0.80	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ① :スパン長	h w	
10 道路編	6トンネル(NATM)	4支保工	3		吹付工	吹 付 け 厚 さ	以上。ただし、 良好な岩盤で	施工延長 40m毎に図に示す。 (1) ~ (7) 及び断面変化点の検測孔を測定。 注)良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準(構造編)にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。	(2) (1) G (3) 東エコンクリート 吹付コンクリート (4) (5) S. L. (7) インパート	
10 道路編	6トンネル(NATM)	4支保工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	ー ー ー プレート下面 から10cm以内	施工延長 40m毎に断面全本数検測。		

	/15/12	3 /I	E /.	~ _	祝俗恒 第 I U 柵	担的柵	1			<u> </u>
編	章	節	条	枝番	· ·	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	6 	5 覆工	3		覆エコンクリートエ	基準高 (拱頂)	±50	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mに つき1箇所。		
路編	ンネル	上				幅 w (全幅)	-50	(2) 厚さ (1) コンクリート打設前の巻立空間		
柳田	$\widehat{\widehat{N}}$					高さh (内法)	-50	を1打設長の終点を図に示す各点		
	A T					厚 さ t ₁ , t ₂	設計値以上	で測定。中間部はコンクリート打 設口で測定。		
	M					延 長 L		(p) コンクリート打設後、覆工コン クリートについて1打設長の端面		
								(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の (1)は 40mに1箇所、(2)~(3)は 100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が40m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されたいる場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。	t: (1) (3) 種エコンクリート (5) (7) (7) (7)	
10 道	6 -	5 覆	5		床版コンクリート工	幅 w	-50	施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇		
路編	ンネル	Ĩ				厚 さ t	-30	所。		
利用	N A T M									

<u> </u>	1 4 / 12		L 1 /	· · ·	九竹匠 为10厘	但如州				平江
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	早 6 トンネル(NATM)	6インバートエ	4		エー作品	順 化 (全幅) 厚 さ t ₁ , t ₂ 延 長 L	元 俗 恒 — — — — — — — — — — — — — — — — — —	(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆エコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。	侧 Æ 固 D	個 安
									(1) (2) (3) (2) (3) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	
10 道路編	6トンネル(NATM)	8坑門工	4		坑門本体工	基準高▽ 幅 w ₁ , w ₂ 高さ h < 3 m h ≥ 3 m 延長 L	±50 -30 -50 -100 -200	図面の主要寸法表示箇所で測定。	L WI	
									h H Wz	

<u>ш</u> /	N/1/ F	7.7.4			祝俗恒 第10柵	担				<u> </u>
編	章	節	条 ;	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	6 -	8 坑門	5		明り巻工	基準高(拱頂)	±50	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長 40mにつき1箇所を測定。)=	
路編	ンネル	円工				幅w(全幅)	-50	なお、厚さについては図に示す各点① ~⑩において、厚さの測定を行う。	h	
柳田	\widehat{N}					高さh(内法)	-50	一つのにおいて、字さり例定を117。	(w)	
	A T					厚 さ t	-20			
	M					延 長 L			2 P 3	
									(アーチ部) (60%60%	
									④ (側壁部) ⑤	
									⑥ (インパート部)	
									8 9 0	
10 道	7 	5 覆工	3		覆エコンクリートエ	基準高(拱頂)	±50	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき 1箇所。		
路編	・ンネル	上				幅 w (全幅)	-70	(2)厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間	t	
77112	(矢板)					高さh (内法)	-70	を1打設長の中間と終点を図に	h	
	板					厚 さ t	-50	示す各点①~⑩で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆エコンクリ		
						延 長 L	_	ートについて1打設長の端面(施工 継手の位置)において、図に示す各	g O g	
								点①~⑩の巻厚測定を行う。 ただし、上部半断面先進工法の場		
								合④~⑦については上半のセントル の間隔程度でよい。	(アーチ部) (60)(60)	
								(ハ) せん孔による巻厚の測定は図の①は40mに1箇所、②~③は40mに1箇	④ (何壁部) ⑤	
								所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下の	(インパート部)	
								ものについては、1トンネル当たり		
								2箇所以上のせん孔による測定を行う。	8 9 10	
								ただし、漏水の多い場合などで 上記によることが好ましくない	367	
								場合は、監督職員の指示により間 隔を拡げることができる。		

Щ/	トハノド	3 ×±2	公十 /	X U	祝俗恒 第10柵	坦岭柵				半 位:IIII
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	草 7トンネル(矢板)	即 6インバートエ	条 4		工 種 インバート本体工	順 W (全幅) 厚 さ t ₁ , t ₂ 延 長 L	現 格 値 -50 設計値以上 -	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (4) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点(1)~(10)で測定。 (p) コンクリート打設後、覆エコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点(1)~(10)の巻厚測定を行う。ただし、上部半断面先進工法の場合(4)~(7)については上半のセントルの間隔程度でよい。 (ハ) せん孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)~(3)は40mに1箇所の割合で行う。なお、トンネル延長が40m以下のものについては、1トンネルもり2箇所以上のせん孔による測定を行う。ただし、漏水の多い場合などで上記によることが好ましくり間隔を拡げることができる。	利 (g) (10) (5) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	摘要
1		I		I						

ЩЛ	マハクト	3 4生2	6十/	X ();	規格旭 弗IU編	担 路桶				単位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道	12 共	5 現	2		現場打躯体工	基準高 ▽	±30	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表 示箇所で測定。		
路編	同溝	現場打構築工				厚 さ t	-20			
/pm	1++	築工				内 空 幅 w	-30		(,0000)	
						内 空 高 h	±30		tw t w t w t w t	
						ブロック長 L	-50			
									der der der der	
10 道	12 共	5 現	4		カラー継手工	厚 さ t	-20	図面の寸法表示箇所で測定。		
路	同溝	現場打構築工				幅 w	-20		. +	
編	件	無				長 さ L	-20		, T	
									k w	
10 道	12 共	5現	5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂 版で測定。		
路編	同溝	現場打構築工								
		築工								
									 	
10	12	5	5	2	防水工	厚 さ t	設計値以上	両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。		
道 路	共同	現場			(防水保護工)	子 C t	取可胆丛工			
編	溝	現場打構築工								
		Ï							t <u>I</u>	

<u>Ш</u>	木川ケ	3 生2	区中人	χU,	規格個 弗IU編	坦 路編				<u> </u> 串位:mm
編	章	節		枝番		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	12 共同溝	5 現場打構築工	5	3	防水工 (防水壁)	高 さ h 幅 w 厚 さ t	-20 ±50 -20	図面の寸法表示箇所で測定。		
10 道路編	12 共同溝	6プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	基 準 高 ▽ 延 長 L	±30 -200	施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m 以下のものは1施工箇所につき2箇 所。ただし、基準高の適用は据付後の 段階検査時のみ適用する。 延長:1施工箇所毎		
10 道路編	13電線共同溝	5電線共同溝工	2		管路工(管路部)	埋 設 深 延 長 L	0∼+50 −200	接続部(地上機器部)間毎に1箇所。 接続部(地上機器部)間毎で全数。 【管路センターで測定】	G. t OO:	

<u>Щ</u>	米心	官理	安华/	文 ()、	規格値 第10編	追路編				単位:mm
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	電線	5電線共同溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	基準高▽	±30	接続部(地上機器部)間毎に 1 箇所。		
10 道路編	電	6付帯設備工	2		ハンドホールエ	基 準 高 ▽ ※厚 さt₁~t₅ ※幅 w₁, w₂ ※高 さh₁, h₂	±30 -20 -30 -30	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合	t ₃	

<u>Ш</u> ;	米川グ	日 生	五中,	及い	規格個 弗IU裤	Ħ.	旦 路桶					平位:mm
編	章	節	条	枝番	工 種	,	測定項目	規 個々の 測定値 (X)	格 値 平均の 測定値 (X ₁₀)	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
10 道路編	道	4舗装工	5		切削オーバーレイエ	rþ	厚さ t	-	- 9 -25 -100 3 mブ ロフィルメー ター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm 以下	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 相は、延長40m毎に1箇所の割とし、延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 小規模未満(200㎡未満)の工事においては、平坦性の項目を省略する事ができる。	で ・	
10 道路編	道	4舗装工	7		路上再生工	路盤工	厚さ t 幅 w 延長 L	-	-30 -50 -100	幅は延長 40m毎に 1 箇所の割で測定。 厚さは、各車線 40m毎に左右両端及び 中央の 3 点を掘り起こして測定。	全 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	

ЩЭ	マハショ	3 2生2	古中/	X U'	規俗但 弗」	. U 編	追 翰柵							
編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	規格値	測 鋼げた等	定 基 準トラス・アーチ等	測定箇所	摘要		
10 道路編	17 道路修繕	3工場製作工	4		桁補強材製作工		フランジ幅 w(m) 腹板高h(m) 腹板間隔 b'(m)	$\begin{array}{l} \pm \ 2 \cdots \cdots \\ w \le 0.5 \\ \pm \ 3 \cdots \cdots \\ 0.5 < w \le 1.0 \\ \pm \ 4 \cdots \cdots \\ 1.0 < w \le 2.0 \\ \pm \ (3 + w / 2) \cdots 2.0 < w \end{array}$	主げた・主構床組など	各支点及び各支間中央 付近を測定。 構造別に、5部材につ き1個抜き取った部材 の中央付近を測定。	h			
							フランジの直角度 δ (mm)	w/200	主げた	各支点及び各支間中央 付近を測定。	ν/2			
							圧縮材の曲がり δ (mm)	€ ∕1000	_	主要部材全数を測 定。ℓ:部材長 (mm)	ē			